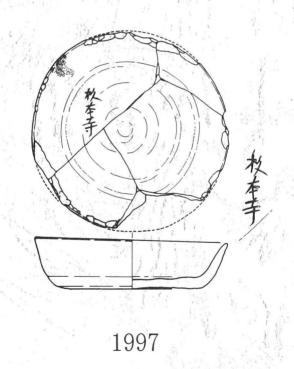
熊本大学埋蔵文化財調査室年報 3 -1996年度-



熊本大学埋蔵文化財調査室

熊本大学埋蔵文化財調査室年報 3

-1996年度-

1997

熊本大学埋蔵文化財調査室

熊本大学の現地再開発計画を実施するに当たり、黒髪、本荘両地区をはじめ本学キャンパスに埋蔵される文化財を調査し、貴重な文化財を記録し保存しつつ再開発を進めるために埋蔵文化財調査室を設置し、同調査委員会を組織して、平成6年度から鋭意調査活動を展開してきました。6、7両年度の成果はそれぞれ、熊本大学埋蔵文化財調査室年報1及び2にとりまとめられ刊行されています。

調査の第3年次に当たる本年度には、医学部再開発に伴う本庄遺跡の発掘調査をは じめとして、昨年度に比べいくらか少ないものの21回に及ぶ調査が実施されました。 その過程では、調査の準備体制が充分整っていたにも拘らず、事前工事が予定どおり 進捗せず、計画した調査が一部しか実施できなかったり、本調査と平行して工事に伴 う計画外の調査を強いられるといったこともあったと聞きました。ところが、本年報 に詳述されているように、縄文時代後期~晩期の遺物包含層をはじめとし、予想外の 発見が数多くもたらされました。これらの成果は、正しく数々の困難を克服しつつ地 味な調査に携わられた調査員や作業員の皆さんの努力の賜物であり、高く評価される べきものであります。

発見された文化財は、いずれも正確な調査記録とともに、古代から現代に至る人々の生活や習俗などを正しく理解するための貴重な資料となるものであり、今後の研究や教育に有効に活用されることを願わずにはいられません。また、不十分な条件下でありながら、平成6年度以来一貫して調査を先導をしてこられた調査室長甲元眞之教授、調査委員長北野隆教授をはじめ、関係各位の並々ならぬ献身と努力に対し、熊本大学を代表して心から深く感謝いたします。

平成9年3月

例 言

- 1. 本書は熊本大学構内において、1996年4月1日から1997年3月31日まで行われた埋蔵文化財の調査および熊本大学埋蔵文化財調査室の活動内容に関する年次報告書である。
- 2. 構内遺跡の調査は、昨年度に引き続き、年次と調査順を表す調査番号で表すこととし、出土遺物や記録類もこの番号で整理・管理している。なお、本年度に実施した、医学部附属大学病院構内(本庄遺跡)の調査については、試掘調査から本調査に至るまでの配管替え等に伴う事前調査もすべて、同じ番号で記録しているので、調査回数と調査番号は一致していない。
- 3. 遺跡略号は、地区ごとにローマ数字 2 ~ 3 文字で以下のように表記した。黒髪町遺跡黒髪南地区 (KKS)、同北地区 (KKN)、本庄遺跡大学病院構内 (HJH)、本庄遺跡医学部構内 (HJM)。
- 4. 遺物への注記は、遺跡略号+調査番号+出土遺構(位置)の順で行った。
- 5. 本書に掲載した遺物やその他の出土遺物および調査にかかわる記録 類は、すべて熊本大学埋蔵文化財調査室にて保管している。
- 6. 本書で使用した遺構実測図は、小畑弘已をはじめとする調査参加者が、遺物実測図は小畑、今村佳子、飯田孝俊、大坪志子、尾上博一、 土田ちえみ、辻村美代子、林田恵子、藤江 望、藤原由博、藤木 聡、美浦雄二、若杉あずさ、若杉竜太が作成した。製図は、剥片石 器を藤木が行った他は、すべて小畑が行った。
- 7. なお、本年度より、遺構実測に遺跡調査汎用システム (カタタ Ver. 3-アーケオテクノ社)を導入した。本生遺跡の遺構実測図はこのシステムによって作成した。
- 8. 本庄遺跡で検出した人骨の鑑定にあたっては、児玉公道教授をはじめとする本学医学部解剖第一教室の方々にお世話になった。
- 9. 前年度実施した松島地区臨海実験所構内の発掘調査 (9509) にかかわる年代測定の結果報告が古環境研究所より出されたので、付篇1に掲載した。
- 10. 本書の執筆は、1~4章を小畑、5章を甲元眞之室長、付篇2なら びに抄録を矢野希久代が分担した。
- 11. 本書の編集は、甲元室長の指導のもと小畑が行った。

熊本大学埋蔵文化財調査室年報 3

本文目次

第1章	本年度の調査概要	1
第2章	黒髪北・京町・薬学部地区の調査	4
1.	黒髪北地区の調査	4
2.	京町地区の調査	4
3.	薬学部地区の調査	4
第3章	黒髪南地区の調査	6
1.	遺跡の立地と周辺の遺跡	6
2.	調査地点と調査成果	6
	工学部校舎建設に伴う発掘調査(9603)	6
3.	まとめ	10
第4章	本荘地区の調査(9601)	11
1.	遺跡の立地	11
2.	調査の経過	11
3.	調査結果	13
4.	まとめ	33
第5章	跋 文	39
付編 1	前島貝塚他出土試料の放射線炭素年代測定結果(株式会社 古環境研究所)	40
付編 2	1996年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織	
報告書	少録	末
	挿 図 目 次	
Fig. 1	黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図(1/25000)	
Fig. 2	黒髪北地区・京町地区における調査地点位置図(1/3000)	5
Fig. 3	黒髪南地区における調査地点配置図(1/2000)	7
Fig. 4	黑髮町遺跡(9603調査地点)遺構配置図(1/200)	
Fig. 5	黒髪町遺跡(9603調査地点)出土遺物実測図(1/4·1/3) ·······	
Fig. 6	本荘地区における調査地点配置図(1/2000)	12
Fig. 7	本庄遺跡(9601調査地点)近代幕地配置図(1/100)及び募実測図(1/40)	14
Fig. 8	甕棺・標石・蓋石・骨壺実測図(1/12·1/6)	16
Fig. 9	副葬品実測図 1 (1/2)	17
Fig.10	副葬品実測図 2 (3/4)	18
Fig.11		16
	数珠玉実測図 (3/4)	19
Fig.12	六道銭実測図(3/4)	20
Fig.12 Fig.13	大道銭実測図 (3/4) ····································	20 23
_	大道銭実測図 (3/4)	20 2: 2:
Fig.13	六道銭実測図 (3/4)	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2
Fig.13 Fig.14	六道銭実測図(3/4) 本庄遺跡 (9601地点) 遺構配置図 (1/400) 1 号溝出土遺物実測図 1 (1/4)	20 2: 2:

Fig.	18 1 号溝出土遺物実測図 5 (1/4)	27
Fig.	19 ヘラ背き・刻書土器実測図(1/3)	28
Fig.	20 墨書土器実測図 (1/3)	29
Fig.	21 各遺構出土土器・鉄器実測図 (1/4・1/3)	30
Fig.	22 縄文上器実測図 (1/4)	31
Fig.	23 縄文時代石器実測図 (1/2) 及び40号土壙実測図 (1/20)	32
	表目次	
第1	表 熊本大学敷地埋藏文化財包藏地指定一覧表	1
第 2	表 1996年度調査一覧表	2
第 3	表 黑髮町遺跡(9603調査地点)出土遺物一覧表	9
第 4	表 本庄遺跡(9601調査地点)近代墓一覧表	15
第 5	表 近代墓埋葬主体別集計表	19
第6	表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土ヘラ背き・刻書・墨書土器一覧表	34
第7	表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土土器・陶磁器一覧表	36
第8	表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土石器・金属器・ガラス製品一覧表	38
	図版目次	
1.	黒髪北地区入試保管庫試掘調査(9609)トレンチ(西から)	
2.	黒髪南地区工学部校舎発掘調査(9603)調査区全景(西から)	
3.	同19号柱穴断面(西から)	
4.	同8号竪穴住居址(西から)	
5.	本荘地区医学部校舎発掘調査(9601) 3 区21号住居址(南から)	
6.	同 5 区 1 号竪穴住居址竈(南から)	
7.	同6区全景 (東から)	
8.	同本調査区I区全景(西から)	
9.	同近代墓地南半部(南から)	
10.	同2号墓人骨出土状況(東から)	
11.	同道路および1号溝(南から)	
12.	同1号溝遺物出土状況(東から)	
13.	同7号竪穴住居址・57号掘立柱建物(南から)	
14.	同15・16・33~37号竪穴住居址(西から)	

15. 同近代墓出土六道銭

第1章 本年度の調査概要

本年度は、医学部校舎建設に伴う本庄(熊大病院敷地)遺跡の調査をはじめとして、発掘調査2件、立会調査10件、試掘調査2件を実施した(第1表)。調査回数としては昨年よりやや少ない21回である。しかし、医学部校舎建設に伴う約2000㎡の発掘調査があったため、発掘調査の面積比にすれば全体で昨年の2倍強となっている。期間的にも、4月の昨年度末に実施予定であった医学部校舎の試掘調査に始まり、5・6月の工学部校舎の発掘調査、8月からの医学部校舎の予備調査、10月から1月中旬までの医学部校舎本調査と、あわただしい1年であった。とくに附属病院構内の調査は、8月から調査体制に入ったものの、事前工事の進捗状況が悪く、待機していた9月には調査が一部しか実施できず、10月から配管替えに伴う調査を本調査と平行して実施せざるを得ない事態に陥るなど、調査は困難を極めた。しかも、多量の遺物を含む溝などの奈良~平安時代の遺構が濃密な上、当初予想していなかった縄文時代後期~晩期の遺物包含層、そして極めつけは60基あまりの無縁仏を埋葬した近代墓地が発見されるなど、大幅な調査の遅延を余儀なくされた。

しかし、奈良時代の道路、および私寺の存在を予想させる多量のヘラ書き・墨書土器の発見などは、本地域の古代史の様相を知る上で貴重な成果と思われる。また、近代の墓とは言え、六道銭の副葬や甕棺・箱棺葬の存続を確認できたこと、そしてその記録や物質資料は、民俗誌や伝承でしか残らなくなってきている明治〜昭和初期にかけての埋葬習俗を知る上で、今後重要な歴史資料となると思われる。限られた期間と体制の中でできうる限り記録収集に努めたつもりである。出土した人骨は、本学医学部解剖第一教室の鑑定を経た後、再び荼毘に付される予定である。故人の冥福をお祈りするとともに、これらの成果が学術資料として活用されんことを願うものである。

また、発掘調査の円滑な進行に、条件整備などのご協力を惜しまれなかった本学医学部、附属大学病院、本部施設部並びに工事関係各位に御礼を申し上げるとともに、調査にご協力いただいた本学考古学研究室各位、墓掘りというあまり心地よいとはいえない作業に最後までつきあってくださった作業員の皆様にも感謝の意を表したいと思います。

Na	地区名 (学部名)	所 在 地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区 (法・文・教養) 黒髪北地区 (教育)	熊本市黒髪2丁目40-1 熊本市黒髪5丁目17-1	黑髮町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
2	黒髪南地区 (エ・理)	熊本市黒髪 2 丁目 39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
3	京町地区(教育学部附属小・ 中学校)	熊本市京町本丁 5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区(附属幼稚園)	熊本市城東町 5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷 240-1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	理学部臨海実験所	天草郡松島町大字会津 6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995 年度の調査に よって貝塚でない ことが判明
7	本莊南地区 (医)	熊本市本荘2丁目2-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	
8	本莊北地区(医学部附属病院)	熊本市本荘 1 丁目 1-1	本庄遺跡 (熊大病院 敷地遺跡)	散布地・集落加・ 墓地	縄文・弥生・ 古墳・奈良・ 平安・近代	
9	九品寺地区(医・薬)	熊本市九品寺 4 丁目 24-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市大江本町 5-1	出水国府跡	官衙跡	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	

第1表 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表

Na	調査番号	調查地区(調査区)	工事内容	調査期間	調査内容	調査結果の概要	出土遺物
1	9601	本莊北 (附属病院)	医学部校舍建 設	1996.4.19	試掘調査	古代溝および包含層検出。 要調査。	古代土師器・ 須恵器
2	9602	黒髪北(法文学部)	法文学部記念 植樹	1996.5.10	立会調査	掘削レベルまで埋土、包 含層および遺構無し。	無し
3	9603	黑髪南 (工学部)	工学部校舎建設	1996.5.10~ 1996.6.24	発掘調査	縄文時代後期包含層、古代竪穴住居6基、溝5条、掘立柱建物3棟、土壙3基、柱穴多数検出。	縄文後期土器・ 弥生中期土器・ 古代土師器・ 須恵器・鉄器・ 瓦
4	9604	黒髪北・附属(教育 学部)	教育学部ATMネットワーク付設工事	1996.5.13	立会調査	既設管部分に相当。他の 個所は包含層に達せず。	出土遺物無し
5	9605	京町(教育学部)	附属小学校A TMネットワー ク付設工事	1996.5.14	立会調査	地表下1mまで埋土。包含層・遺構ともになし。	近代磁器破片 少量
6	9606	(薬学部)	楽学部 ATM ネットワーク付設工事	1996.5.15	立会調査	地表下80cmまで埋土。包 含層・遺構ともになし。	無し
7	9607	黑髪北 (法文学部)	法文学部外灯 設置工事	1996.6.17	立会調査	一部包含層を確認。遺構 なし。	古代須惠器 1 点
8	9608	黑髪南 (工学部)	工学部RI実 験棟電線配線 工事	1996.6.19	立会調査	遺物包含層に達せず。	無し
9	9609	黒髪北 (学生部)	入試保管庫建 設工事	1996.8.5	発掘調査 (試掘)	地表下1.1mまで包含層・ 遺構ともに無し。設計変 更して建設。	無し
10	9601	本莊北 (附属病院) (1·2·3区)	医学部校舎建 設に伴う樹木 移植・貯水槽 建設工事		発掘調査	古代竪穴住居・古墳時代 前期竪穴住居などを検出。	
11	9601	本荘北(附属病院) (4区)	医学部校舎建 設に伴う切り 替え道路建設	1996.8.22~ 8.27	発掘調査	竪穴住居の床面およびそ の他の柱穴などを検出	古代須惠器· 土師器
12	9601	本荘北(附属病院) (5区)	医学部校舎建 設に伴う切り 替え道路建設	1996.8.29~ 8.30	発掘調査	完形の蹇形土器の入った 竈址などを検出。	古代須恵器・ 土師器
13	9610	黒髪北 (教養部)	夏目漱石像建 立	1996.9.6	試掘調査	掘削レベルー35cmにより、 包含層に達せず。	無し
14	9601	本莊北(附属病院) (6区)	医学部校舎建 設に伴う排水 管切り替え工 事	1996.10.1~ 10.9	発掘調査	古代道路および竪穴住居 址を検出	土師器
15	9601	本注北 (附属病院) (本調査区)	医学部校舎建 設本体工事	1996.10.11 ~1997.1.17		縄文時代包含層、古墳時 代土壙、古代道路、竪穴 住居址、掘立柱建物、土 壙、近代墓地など多数を 検出。	片、古墳時代・ 古代須恵器・
16	9601	本荘北(附属病院) (7・8・9区)	医学部校舎建 設に伴う排水 管切り替え工 事		発掘調査	古代竪穴住居址・竈など を検出。	土師器
17	9601	本莊北(附属病院) (10区)	医学部校舎建 設に伴う排水 管切り替え工 事	~11.13	発掘調査	古代竪穴住居址を検出。	古代須恵器・土師器
18	9611	黒髪南 (工学部)	外灯付設工事	1996.11.12	立会調査	掘削レベル-1 mまで埋土。	無し
19	9612	黒髪南 (工学部)	工学部電線埋設工事	1996.12.18	立会調査	掘削レベルまで埋土。 遺構・包含層無し	
20	9613	黑髪南 (工学部)	工学部研究実 験棟 II 親営機 械設備工事	1997.3.3~ 3.31	立会調査	既設管による撹乱多し。 掘削レベル-1.2mまで、遺 物包含層・遺構認められず。	
2	9614	黒髪南 (工学部)	工学部衝撃エ ネルキ・一実 験所火薬庫取	<u> </u>	立会調査	掘削レベル-50cmまで埋土。包含層に達せず。	黒 無し

第2表 1996年度調査一覧表

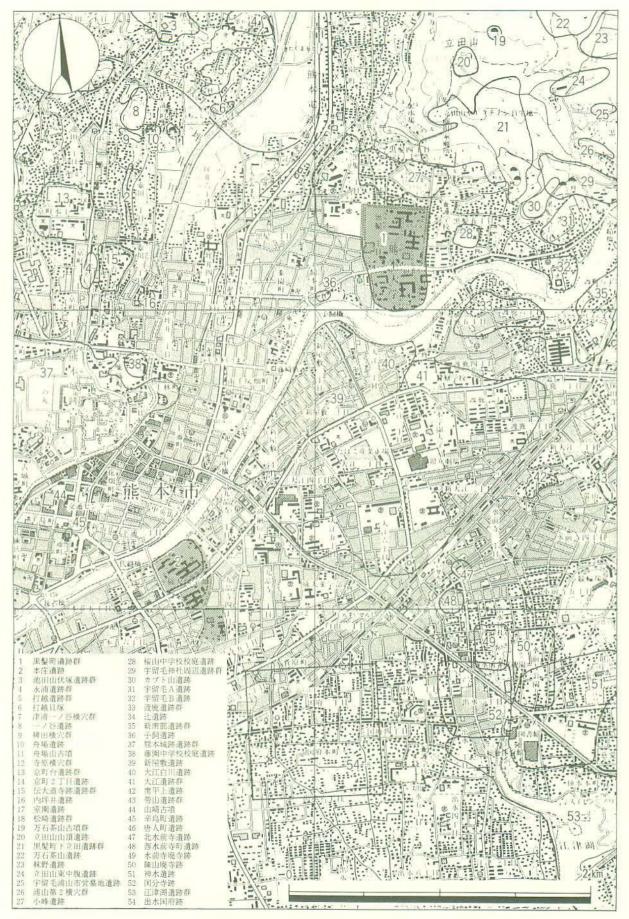


Fig. 1 黒髪町遺跡・本圧遺跡の位置と周辺遺跡の分布図(1/25000) (この地図は国土地理院発行1/25000地形図「熊本」を使用したものである)

第2章 黒髪北・京町・薬学部地区の調査

1. 黒髪北地区の調査 (Fig. 2)

<遺跡の概要>

法学部・文学部・教育学部・教養部の所在する黒髪北地区は、周知の黒髪町遺跡群(熊本市遺跡地図 No. 8-88) 内にある。1994年度の福利施設建設に伴う調査 (9405) によって、奈良時代~平安時代にかけてのヘラ書き土器や墨書土器を有する集落址が検出されており、該期の遺構が密に存在する可能性が高い。

く調査の概要>

本年度のこの地区内で実施された埋蔵文化財関係の調査は、法学部樹木植樹にかかわる立会調査 (960 2)、教育学部 ATM 付設工事にかかわる立会調査 (9604)、法・文学部外灯設置工事にかかわる立会調査 (9607)、入試保管庫建設にかかわる試掘調査 (9609)、教養部夏日漱石像建立にかかわる試掘調査 (9610) などがある。いずれの調査においても、掘削深度が浅く、遺構は検出されていない。個別の調査結果の詳細は、第 2 表を参照されたい。

入試保管庫の調査 (9609) は、4 個所ほどの試掘壙を入れたが、地表下1.1mまで埋土であり、遺物包含層および遺構面には達しなかった。このため、このレベルより上に建物の基礎面の底上げを行うよう施設部に要請した。

2. 京町地区の調査 (Fig. 2)

く遺跡の概要>

本学教育学部附属小学校および同附属中学校の敷地内は、京町台遺跡群(熊本市遺跡地図No.8-45)として周知されている遺跡内にあたる。

遺跡の立地する台地は、熊本平野北部の標高30~40mの凝灰岩台地である。台地の両側は東を坪井川、西を井芹川が開析南流している。台地上には弥生時代を中心とした集落址があり、江戸時代には熊本城下の武家屋敷の一両を占めていた。

既往の調査としては、熊本市教育委員会による熊本営林局構内の調査や本調査室による附属中学校内 の調査がある。弥生時代後期と近世を中心とした遺構・遺物が検出されている。

<調査の概要>

本年度の本地区における埋蔵文化財関係の調査は1件のみで、附属小学校 ATM 付設工事にかかわる立会調査 (9605) である。地表下1 mまで埋土であり、掘削部分では包含層に達していない。

3. 薬学部地区の調査

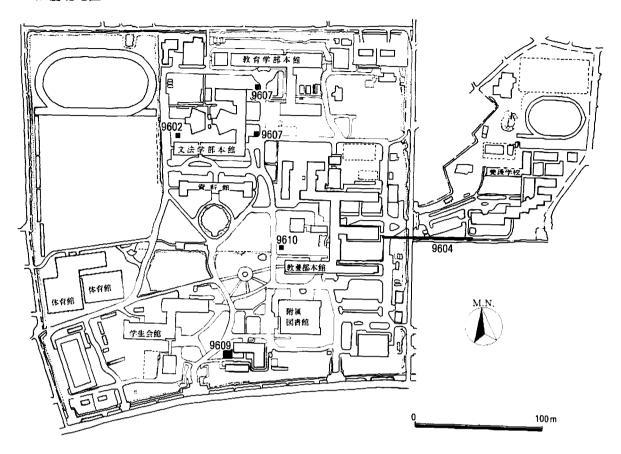
<遺跡の概要>

本学の薬学部においても上記2地区で実施されたATM付設工事が行われるため、周知の遺跡ではないが、遺跡周辺にあたるため立会調査を実施した(9606)。本地区は、同じ白川左岸に立地する古代の集落遺跡である大江・新屋敷遺跡群や本学医学部附属病院内の本庄遺跡、そして出水国府跡などの古代の重要遺跡に囲まれた地点にありながら、未調査部分が多く、埋蔵文化財の様相はあまりよくわかっていないのが現状である。

<調査の概要>

薬学部敷地南東部にあたる花壇園の部分を立会調査したが、工事のための掘削深度である-80cmまで埋土であり、今回は遺物包含層および遺構は検出できなかった。

黒髪北地区



京町地区

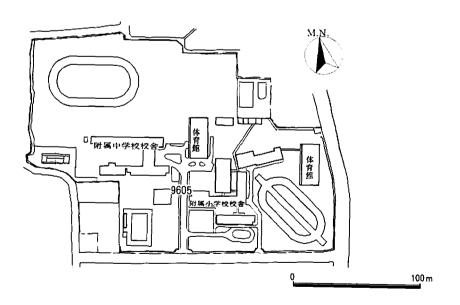


Fig. 2 黒髪北地区・京町地区における調査地点位置図 (1/3000)

第3章 黒髪南地区の調査

1. 遺跡の立地と周辺の遺跡

本学の法学部・文学部・教育学部・教養部・工学部・理学部の所在する黒髪地区は、周知の黒髪町遺跡群(熊本市遺跡地図No.8-88)内にある。遺跡は熊本平野北西部に違える立田山(標高151.6m)の南山麓部、白川右岸に展開する河岸低位段丘(標高25~18m)上に位置する。熊本平野南部は、阿蘇南郷谷に水源をもつ白川の運搬した土砂が扇状地形に堆積した砂礫層を基盤としており、本遺跡は位置的にその扇状地の要の部分に相当する。

周辺遺跡としては、背後の立田山裾に小峰遺跡、黒髪町下立田遺跡群、カブト山遺跡などが、白川を挟んだ対岸に、渡鹿貝塚・北原甕棺遺跡を擁する渡鹿遺跡群や新屋敷遺跡、大江遺跡群などがある (Fig. 1)。本遺跡の主体を占める古代関連では、大宰府から肥後国府へ通じる古代宮道の駅家(蚕養)がこの遺跡付近に存在したことが推定されている。1994年度に実施された本学内の構内遺跡の発掘調査においても、「國」銘の土製印や「馬」銘の多量のへら書き土器や墨書土器が発見されており、一般の農村集落とは趣を異にする古代集落および施設が存在していたことを示している。

2. 調査地点と調査成果 (Fig. 3)

本年度に黒髪南地区において実施した調査は、工学部校舎の建設に伴う本体部発掘調査 (9603)をは じめとして、同機械設備工事立会調査 (9613)、工学部 RI 実験棟電線配線工事立会調査 (9608)、工学部 外灯付設工事立会調査 (9611)、工学部電線埋設工事立会調査 (9612)、工学部衝撃エネルギー実験所火 薬庫取付工事立会調査 (9614) などの立会調査が主体を占めた。立会調査では、遺構や遺物は検出する ことはできなかったが、工学部校舎の建設に伴う発掘調査において古代を中心とする遺構・遺物が比較 的良好に検出されたので、以下に概要を述べる。

工学部校舎建設に伴う発掘調査 (9603)

<調査期間・調査面積>

1996年 5 月10日~1996年 6 月24日 (1000m²)

<調査参加者>

調査員:小畑弘己

作業員:飯田孝俊、今村佳子、大坪志子、岡村久美子、押方富江、尾上博一、甲斐田末男、窪田千代子、古賀敬子、小細工洋子、柴田やよひ、白石美智子、土田ちえみ、林田恵子、番山明子、福田久美子、堀川貞子、松井昭子、水上順子、元島睦美、森田ミドリ、若杉竜太

<調査経過>

本工学部校舎の建設に伴う試掘調査は、すでに1995年3月1日に実施した(調査番号9521)。この結果、 弥生時代中期後半の土器を伴う土壙が検出され、本調査が必要とされた。これを受け、1996年4月18日 の埋蔵文化財調査委員会において協議の結果、了承されたので、1996年5月より発掘調査を開始した。

<遺跡立地と層序>

調査地点は、白川右岸の標高17mの地点にあたる。工学部旧運動場部分に相当し、すでに地形の大きな改変を受けている。運動場の造成にあたって遺物包含層は削平され、遺構検出面の上は、鉄分の沈殿した運動場の硬く締まった層(厚さ5cm)、その上を昭和28年の洪水による青灰色砂層(厚さ30cm)が直接被覆していた。その上部は泥炭質の暗褐色の埋土(約50cm)で、洪水によって運動場が埋没し、その

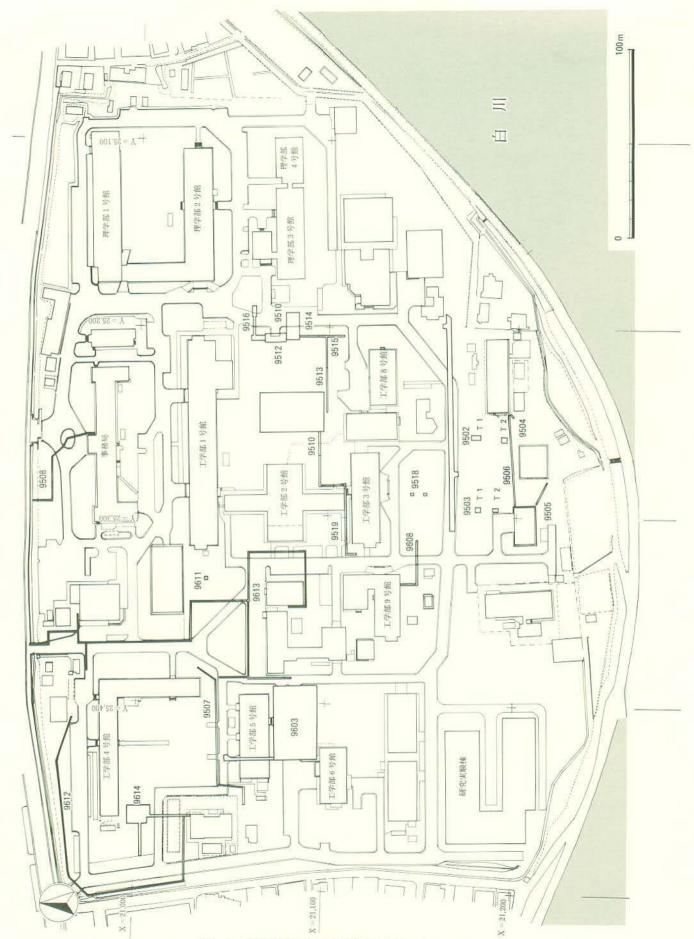


Fig. 3 黒髪南地区における調査地点配置図 (1/2000)

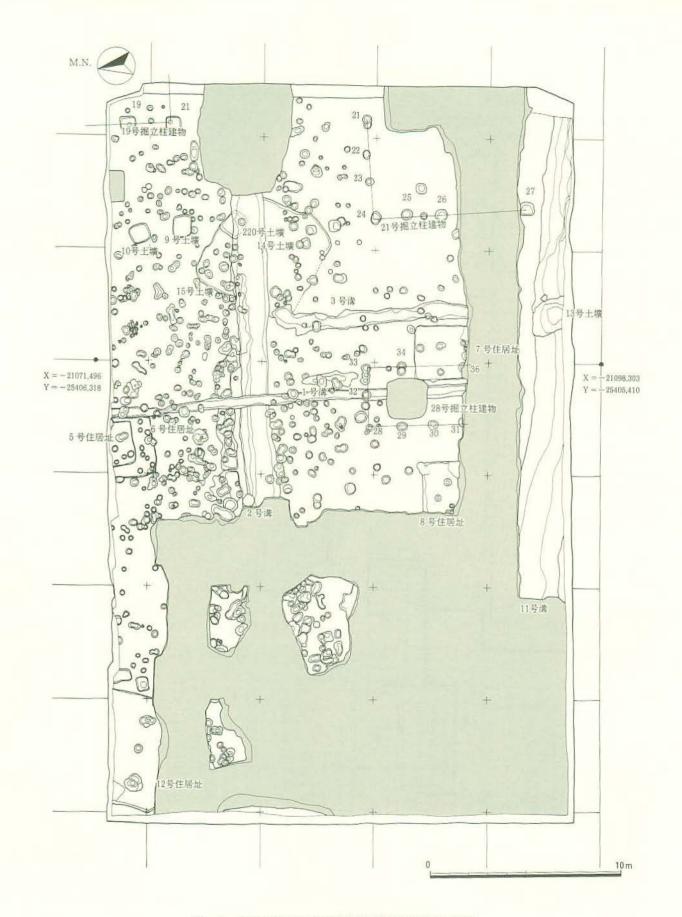


Fig. 4 黒髪町遺跡(9603調査地点)遺構配置図(1/200) (図中アミ部分は提乱)

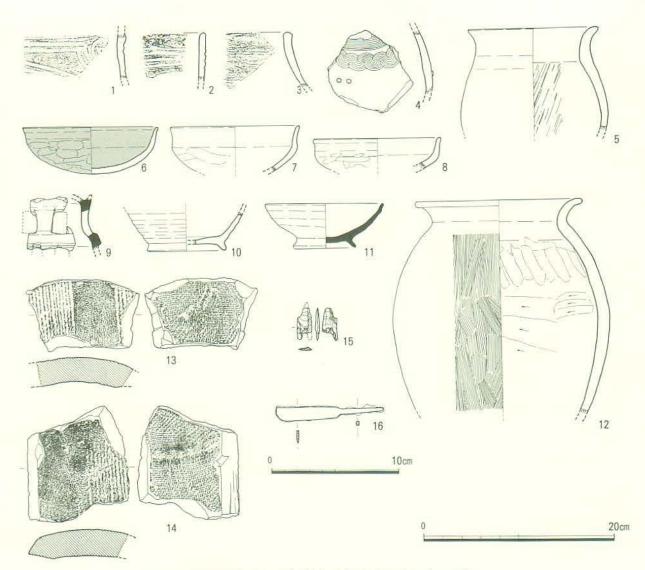


Fig. 5 黒髮町遺跡 (9603調査地点) 出土遺物実測図 (1/4·1/3)

挿図	番号	種別	器種	出土遺構	出土層·位置	器高(長さ)(四)	口径(幅)(cm)	直気(理)	重量(g)	備考
5	1	縄文土器	鉢形土器	遺構面						
5	2	縄文土器	深鉾形土器	8 号住居						
5	3	縄文土器	鉢形土器	37号ピット						
5	4	土師器	壷	遗構面						櫛歯コンパス・円形付文
5	5	土師器	遊	12号住居			13.8			
5	6	土師器	坏	12号住居		5.2	14.4			円塗り
5	7	土師器	坏	12号住居			13.6			
5	8	土師器	坏	12号住居			13.2			
5	9	須恵器	円面硯?	12号住居						
5	10	土師器	驗	11号溝	E − 4 🗵					
5	11	須惠器	坏	2 号溝		4.8	12.3			14号遺構と接合
5	12	土師器	菱	3号溝			17.8			
5	13	瓦	布目瓦	1号溝						
5	14	Æ	布目瓦	遺構面						
5	15	石器	石鏃	40号遺構		2.6	1.2	0.39	0.7	黒曜石製
5	16	鉄器	小型刀子	12号住居		8.7	8.7	0.23	3.5	

第3表 黒髪町遺跡(9603調査地点)出土遺物一覧表

の後埋立造成された様子がわかる。遺構検出面までの深さは、約1.3~1.5mほどである。土層の堆積状況から、旧地形は調査地点の東から西にかけて揺るやかに傾斜していたものと思われる。

<検出遺構と遺物>

調査区の西側、調査面積の約4割ほどは、旧建物の基礎によって破壊されていた。より東側を中心に 古代を中心とした遺構が検出された。

今回の調査で検出された主な遺構は、7世紀後半~9世紀前半にかけての竪穴住居址5基、土壙3基、掘立柱建物3棟、溝3条、9世紀前半以降に掘削された溝1条、柱穴多数などがある(Fig. 4)。とくに、19号掘立柱建物は、19号・20号柱穴の2個しか残存していなが、一辺がおよそ80cmの方形の掘方に、直径20cmほどの柱を入れたもので、方向もほぼ北方向に沿ったものであることから、かなり規模の大きな建物であった可能性が高い。出土遺物が細片でしかも少量のため、確実ではないが、8世紀中~後半にかけての建物址と思われる。竪穴住居址としては、調査区北側中央に重複して営まれた5・6号住居址、南側に7・8号住居址、そして北西端に12号住居址がある。12号竪穴住居址は、主軸方向が北東「南西で、規模も大きく、他とは異なる。5~8号竪穴住居址は出土遺物が少なくしかも細片であるため確実とは言えないが、12号竪穴住居址が7世紀末~8世紀初頭の遺物を含むことから、これに後続する8世紀後半以降のものと考えられる。2号溝は断面形台形を呈し、方位はほぼ東西方向をとる。11号溝がやや蛇行しながら北西へ流れている水路の性格をもつのに対し、ほぼ直線的で、敷地を区画するような性格のものであった可能性が高い。時期は、2号溝が8世紀代のものを多く含み、11号溝は9世紀後半以降の遺物を含む。このことから、2号溝は、19号掘立柱建物に付随する可能性が大きい。

出土遺物としては、該期の須恵器・土師器の各種容器片を主体にし、布日瓦、刀子、鉄鎌、滑石製紡 鍾車、砥石、その他自然遺物として馬歯などがある(Fig. 5)。12号竪穴住居址からは、2 段透しのある 須恵器の円面硯らしきもの(9)が出土しており、注目される。この他、縄文時代後期初~晩期初の鉢 形土器や弥生時代中期後半の墾形上器の破片なども若干出土している。

3. まとめ

黒髪南地区の成果としては、この工学部校舎の新設工事に伴う発掘調査(9603)が主要なものである。この地点は削平が著しく、遺構の残りが悪いと考えられていたが、予想以上に残り具合は良好であった。とくに調査区の西側は、12号竪穴住居址にみられるように、旧地形の斜面部にあたるため、削平の度合いが少なく、周辺には良好な状態で遺構が残存している可能性が高い。黒髪南地区の既往の調査地点に比べて、一段階古い7世紀末~8世紀初頭頃の集落が、この一帯に存在することが判明したことは大きな成果であった。また、掘立柱建物や溝の方向は、すべて南北方向を基調としており、分断された溝(2号溝)の行方および大型の柱痕跡をもつ建物(19号掘立柱建物)とともに、その性格完明は今後の課題である。また、縄文時代から弥生時代にかけての遺物は、より古い遺構および集落がより西側の斜面部に存在する可能性を示しており、今後の調査に期待したい。なお、この成果は整理途上のもので、遺構の時期にはさらなる検証を必要とすることを付記しておく。

第4章 本荘地区の調査(9601)

1. 遺跡の立地

本庄遺跡は、熊本市遺跡地図No.8-95の熊大病院敷地遺跡として周知されている遺跡である(Fig. 1)。 白川左岸の標高14mの沖積微高地(自然堤防)上に位置する。近世以前の白川の本流はより北西側を流れており、本来は河川の影響を受けない安定した高まりであったと考えられる。調査面には砂や砂礫層はまったく認められない。昨年度実施した遺跡の南側にあたる医学部の調査(9511)においても、古代の集落跡および縄文時代後期の遺物包含層が確認されている。白川左岸上流には、奈良~平安時代の大集落址である大江遺跡群や新屋敷遺跡群などがある。

2. 調査の経過

医学部再開発計画に基づき、医学部附属病院の北西部駐車場内に、医学部校舎建設が1996年度より着工されることとなった。附属病院内は「熊本大学病院敷地遺跡」として熊本市遺跡地図(№ 8 - 95)に登録されている。また、以前に同敷地内の北西の一角から採集された土師器・須恵器・布目瓦などの古代遺物が報告されている。このため、1996年4月19日に同建設予定地内において試掘調査を実施した(9601)。トレンチは、敷地長軸を横断するように、幅2m、長さ17m(トレンチ1)と5m(トレンチ2)の2本を東西に設定し、黄色の地山層まで掘り下げた。その結果、奈良時代の土師器や須恵器などの遺物を多量に含む溝状遺構や該期の包含層を確認した。これを受けて、施設部との協議を行い、同年9月後半より本調査を実施することとなった。本調査に先行して8月より樹木移植および移転、貯水槽建設、排水管切り替え工事に伴う調査を実施することとなった。第1章で述べたように、事前工事(道路切り替え工事)の予想外の遅延に伴い、発掘調査の着手時期も順延せざるをえなかった。そのため、排水管切り替えは10月の本調査開始とともに着工され、断続的に本調査実施中も継続して排水管付設部分の発掘調査を実施した。

また、本調査区東隅には、仙崇寺の旧墓地跡があり、当初予想していなかった明治初期から昭和48年までの墓地が検出された。60基あまりの墓からは完全な25体の人骨と25体分の人骨の一部が出土し、調査は難渋を極めた。このため施設部および工事関係者との協議により、調査期間を3週間ほど延期することとし、1997年1月17日をもって調査は無事終了した。

<調査期間・調査面積>

1996年 4 月 19日 試掘調査 (33 m²)

1996年8月6日~同年8月9日 第1~3調査区(樹木移植および貯水槽建設に伴う調査)

(第1区10.1m²、第2区6.8m²、第3区28.8m²)

1996年8月22日~同年8月27日 第4調査区(道路切り替えに伴う調査)(37.4m²)

1996年8月29日~同年8月30日 第5調査区(道路切り替えに伴う調査)(28.2㎡)

1996年10月1日~同年10月9日 第6調査区(排水管切り替えに伴う調査)(104.3㎡)

1996年10月11日 本調査 (I区) (1100m²) 調査開始

1996年10月21日~同年10月29日 第7~9調査区(排水管切り替えに伴う調査)

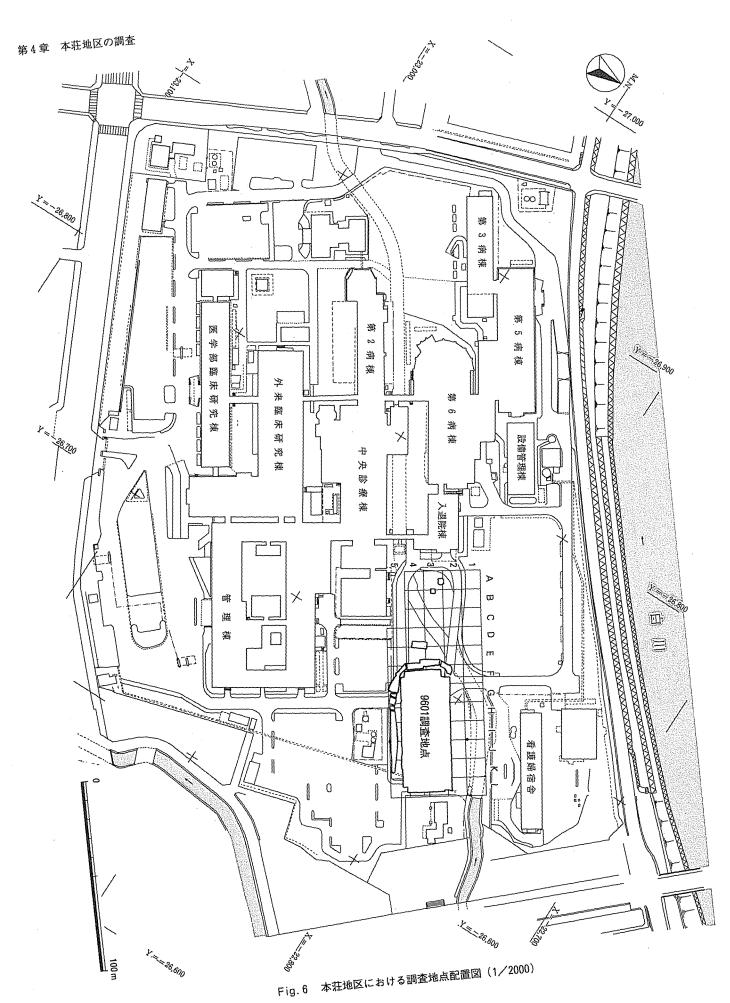
(第7区10.1m²、第8区37.4m²、第9区15.0m²)

1996年11月12日~同年11月13日 第10調査区(排水管切り替えに伴う調査)(21.8㎡)

1996年11月28日 本調査区Ⅱ区 (586m²) 調査開始

1997年1月6日 近代墓地本格調査開始

1997年1月17日 発掘調査終了



-12-

<調査参加者>

調查員:小畑弘己

作業員:飯田孝俊、今村佳子、上田健太郎、上田一美、江島賢一、岡崎光子、岡村久美子、小倉卓、押方富江、甲斐田末男、窪田千代子、古賀敬子、小細工洋子、木庭義光、柴田やよひ、小路岳彦、土田ちえみ、野田和美、林田恵子、番山明子、福岡理恵、福田久美子、藤木聡、藤原由博、古川紀子、益永武史、松井昭子、丸山京子、美浦雄二、水上順子、元島睦美、森田ミドリ、山下直哉、吉岡和哉、若杉あずさ、若杉竜太

<調査協力者>

高木正文(熊本県教育庁文化課)、網田龍生、稲津暢洋(熊本市教育委員会文化課)、岡本真也(一の宮町教育委員会)、木下尚子、蔵冨士寛(熊本大学考古学研究室)、福田正文

3. 調查結果

<基本層序>

本地点は旧駐車場のためアスファルトで覆われていた。その下がバラス(厚さ10cm)、1層-撹乱・埋土層(厚さ20cm)、2層-青灰色砂層(昭和28年の白川洪水の層、厚さ20cm)、3層-暗赤褐色土層(Hue 5YR3/2、厚さ20~40cm)、4層-暗赤褐色土層(Hue2.5YR3/2、厚さ30cm)、5層-黒褐色土層(Hue 10YR2/3、厚さ20cm)となる。4層が古代の遺物包含層で、5層が縄文時代遺物包含層である。5層の下は黄褐色土の無遺物の地山層、青灰色砂層へと続く。

<検出遺構と遺物>

(1) 近代墓地(小松原墓地)の調査

本調査区東隅の70㎡において、およそ60基あまりの墓からなる近代の墓地跡を検出した(Fig. 7)。この一画は、昭和48年に附属病院の敷地になる以前には、隣接する浄土真宗仙崇寺の墓所であり、その一部が発掘によって明らかにされたものである。墓地の範囲はより東に広がるが、今回の調査地点はその西辺にあたる。その方向は旧排水溝に沿ったほぼ北方向に一致し、以前ここに土手および水路があったとの旧聞がある。これは本調査区内の墓地部分から3mほど西側で検出した撹乱溝に相当すると思われる。墓もこのライン沿うように配置することから、すべて寺の墓所内に営まれた墓であると考えられる。墓の造営時期は、寺が先々代の住職の時開基されたことから、明治の始め頃から昭和48年頃と推定される。これは、第12号墓の蓋石に刻まれた明治34年の年号や甕棺自体の型式が19世紀後半以降のものであることからも、ほぼ妥当であると考えられる。

調査によって検出された墓の総数は55基(第4表参照)である。埋葬主体は、釘の残り具合から推定される長方形の棺桶(伸棺)(1基)や、やや短い長方形棺桶(横臥棺)(2)基、方形の箱棺(座棺)(25)基、肥前系甕を用いた甕棺(21)基、骨壺(1基)である。時期的には、墓壙の切り合いから、箱棺、甕棺、長方形棺の順で変移したと考えられる。

埋葬姿勢は、座棺および甕棺の場合、膝を立て座った姿勢で、手は眼前で合掌していたと思われる。ほとんどの人骨が頭蓋骨が立て膝の間の胸部および腹部に落ち込んで検出された。また、横臥人骨も眼前で合掌していた。頭位は切り合い関係から古い墓と推定される47号・49号墓が西を向いている。これに対し、一列に並ぶ3・51・2・17・18・39・55号墓は東を向き、15・46・32・28号墓のように南北方向を向いて対向する墓もある。前者が西方浄土を意識して埋葬されたのに対し、後者は墓道側(墓の正面)を向いていた可能性が高く、新たな墓の配置変化による規制を受けたものと考えられる。墓の内部には、遺体の安定を図るために入れられた籾殻や大鋸屑、鉋屑が入っていた。伝聞によると布に入れて枕代わりに、また遺体の間にも詰めたという。

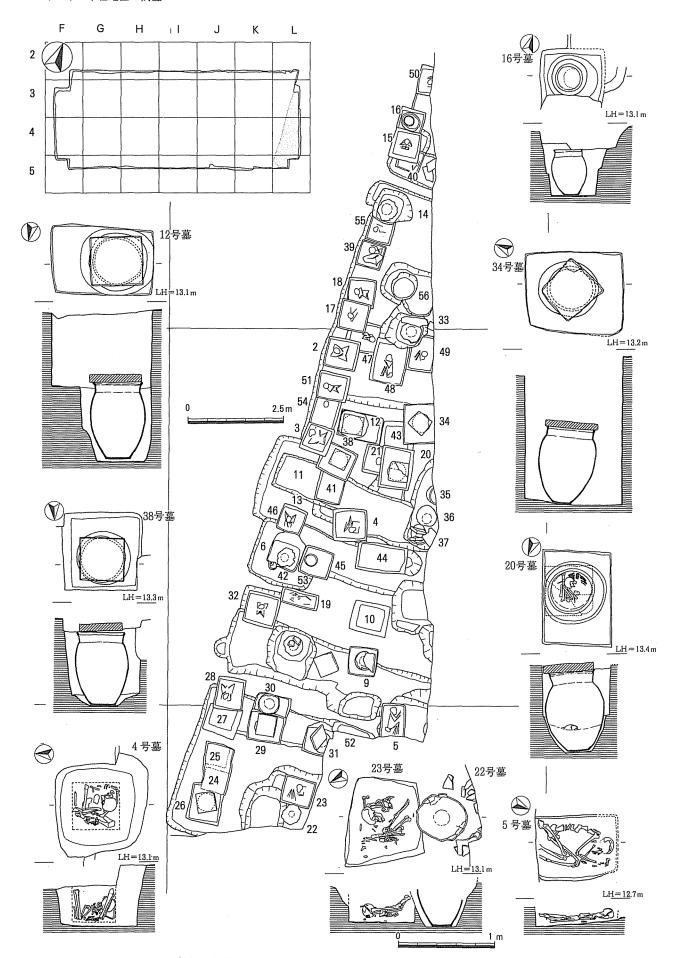


Fig. 7 本庄遺跡 (9601調査地点) 近代墓地配置図 (1/100) 及び墓実測図(1/40)

No.	主体	改葬	頭位	顔向	埋葬姿勢	副 葬 品	骨の残り具合	性別	年齢	備考
1	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	骨片数片	男性	不明	
2	座棺	無し	西	東	座位	数珠玉	全身	女性	40~50代	籾殻入る
3		無し	西	東	座位	無し	全身	男性	10後~20前	墓壙東上部に茶碗
4	座棺		東	西	座位	無し	全身	男性	60代	
5	臥棺	無し	北西	北東	屈葬・横臥	無し	全身	男性	40~50代	歯の磨耗大臼歯中程度
6	1	破壞	不明	' '	不明	無し	一部	不明	成人	
7	甕棺	有り	不明	不明	座位	紅硯・煙管・墨・簪玉	骨盤他	女性	20~30代	籾殻入る
9	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	頭骨なし	女性	20代	
10	座棺	不明		1 1	不明	無し	一部	不明	70代	ė.
11	不明	有り	不明	不明	不明	無し	無し	-	_	
12	甕棺	無し	不明	不明	座位	簪玉・櫛・飾櫛	全身	女性	20-25	石蓋裏「明治34年役」銘・お歯黒・焼け除有
13	不明	有り	不明	不明	不明	無し	無し	_		
14	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	下半身·顎骨?	不明	老人	
15	座棺	無し	南	北	座位	徳利・猪口・アルミ銭	全身	男性	40~50代	
16	甕棺	無し	南	不明	不明	数珠玉1	ほぼ全身?	不明	3 才前後	大臼歯が骨室の中に埋まっている
17	座棺	無し	西	東	座位	銅製簪・銅製指輪	全身	女性	70代	
18		無し	西	東	座位	数珠玉多数・寛永通寶 1	全身	女性	20後~30代	
19	臥棺	有り	西	不明	仰臥伸展	鲍殼	頭骨以外	不明	子ども	
20	甕棺	無し	南	北	座位	無し	全身	女性	60~70代	籾殻入る。甕底墨書銘
21	座棺	無し	東	西	座位	無し	全身	男性	20~30代	
22	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	一部	不明	不明	
23	座棺	無し	東	西	座位	刺歯	全身	女性	70代	頭がかなり長頭
24	座棺	有り?	不明	不明	不明	無し	一部	不明	不明	
25	座棺	有り?	不明	不明	不明	無し	一部	不明	不明	
26	甕棺	無し	不明	不明	不明	無し	頭骨以外	女性	20~30代	お歯黒
27	不明	不明	不明	不明	不明	無し	無し	-	_	掘り方のみ残る
28	座棺	無し	南	北	座位	銅製指輪	全身	女性	40代	きわめて長頭
29	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	一部	女性	70代	椎体に前縦靭帯骨化
30	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	一部	不明	成人~壮年	
31	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	頭蓋なし	女性	70代	椎体(腰椎)の一部変形
32	座棺	無し	北	南	座位	数珠玉 1	全身	女性	70代	墓壙覆土上部より-銭銅貨
33	甕棺	有り	東	西	座位	無し	一部	男性	60~70代	上部に松島銘の墓石
34	甕棺	無し	北	南	座位	清銭2・不明銭1	全身	男性	20代前	鉋屑入る、火葬痕有り、傷多数
35	甕棺	有り	不明	不明	不明	徳利・酒杯	一部	不明	20~30代	
36		有り			不明	徳利・酒杯・煙管雁首	一部	男性	30代	籾殻入る
37	甕棺	有り	不明	不明	不明	煙管雁首	少量	男性	70代	籾殻入る
38	甕棺	無し	南	北	座位	数珠玉(青)2	全身	女性	70代	
39	座棺	無し	西	東	座位	無し	全身	女性	20~30代	頭蓋内部に縫合有り、歯の磨耗ほとんど無し
40	座棺	有り	北	南	座位	プラスチック製櫛・アルミ銭	脚骨のみ	女性	成人	
41	座棺		不明	不明	不明	数珠玉 2	一部	女性	50代	
42			-	-	_	無し	火葬骨	不明	不明	
43				不明	不明	陶製人形・馬	部	不明	10代	乳歯有り
44			不明		不明	無し	一部	不明	壮年	墓壙上部より指輪付き指骨
45	1			不明	不明	無し	全身	l	生後1才未満	木蓋か?
46	座棺		南	北	座位	無し	全身	1	10後~20前	頭髪が膝の間に置かれる
47			東	西	座位	無し	全身	女性?	60代	
48		無し	北	西	左横臥屈肢	数珠玉 5	全身	男性	70代	墓壙上部に一銭銅貨4枚、かなり長頭
49	座棺	無し	東	西	座位	六道銭(寛永通寶)	全身	女性	成人	
50	座棺	無し	東	西	座位	無し	一部	不明		
51	座棺	無し	西	東	座位	煙管・六道銭・銅製金具	全身	男性	70代	頭蓋冠に凹凸有り
52	[有り	不明	不明	不明	無し	一部	不明	60代	金歯
53			不明	不明	不明	無し	無し		-	掘り方のみ残る
54		有り	i	不明	不明	無し	頭骨のみ	不明	不明	
55	i 1	有り	西	不明	座位	無し	頭骨無し、下顎以下残る。	男性?		
56	甕棺	有り	不明	小明	不明	無し	無し	<u> </u>		円形の掘り方のみ残る

第 4 表 本庄遺跡 (9601調査地点) 近代墓一覧表

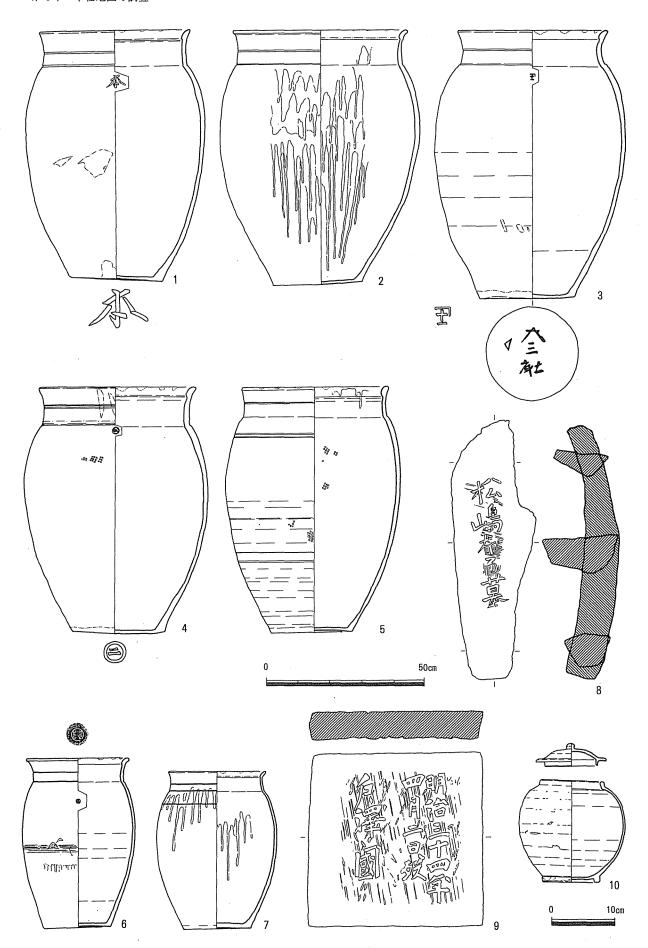


Fig. 8 甕棺・標石・蓋石・骨壺実測図(1/12・1/6) (1:34号墓、2・9:12号墓、3:20号墓、4:26号墓、5:35号墓、6:45号墓、7:16号墓、8:33号墓上、10:42号墓)

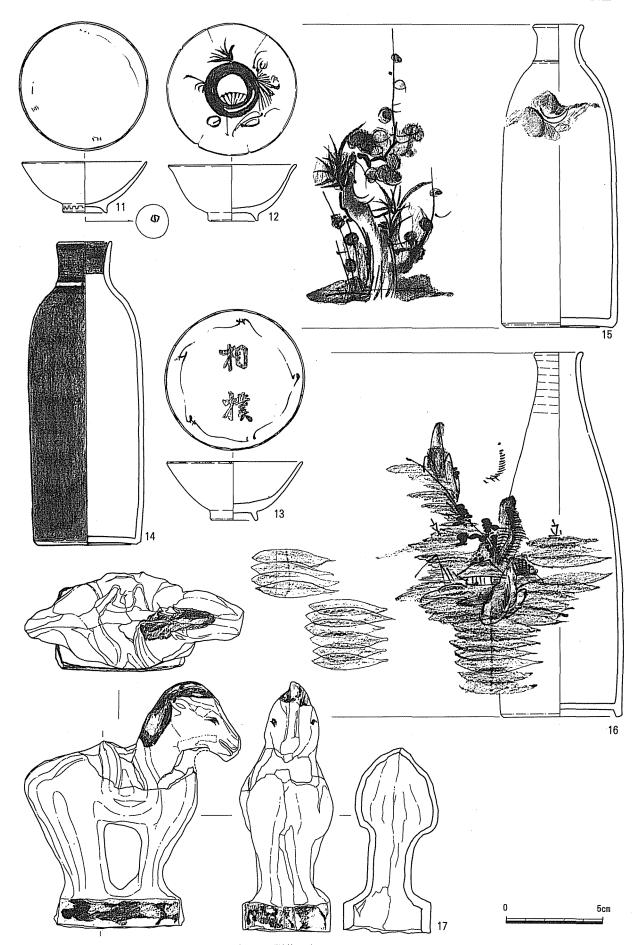


Fig. 9 副葬品実測図 1 (1/2) (11·14:35号墓、12·15:36号墓、13·16:15号墓、17:43号墓)

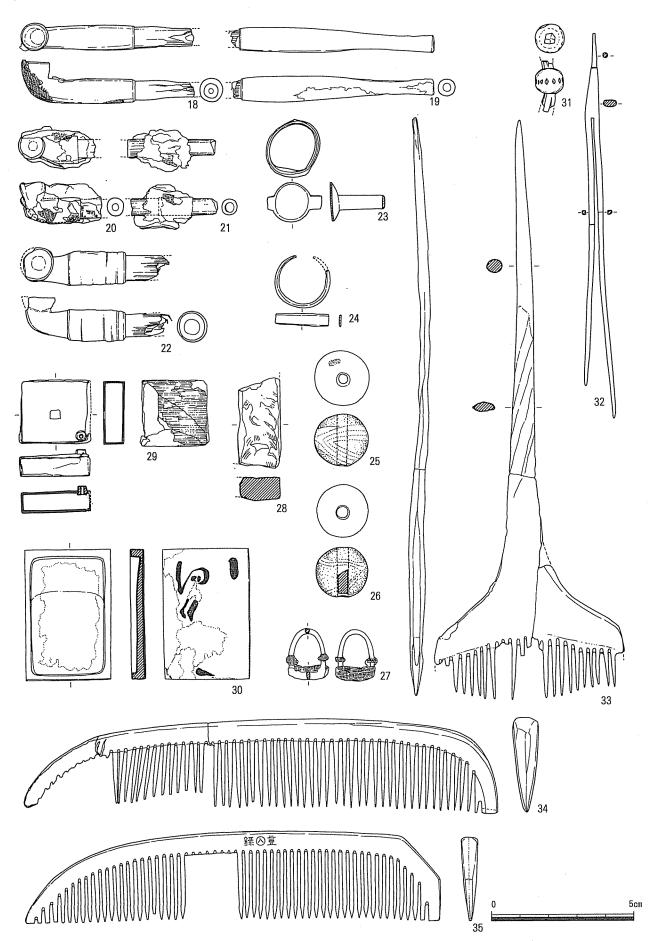


Fig.10 副葬品実測図 2 (3/4) (18·19·27:51号藝、20·21·25·28~31:7号藝、22:36号藝、23:44号藝上、24:28号藝、26·33·34:12号藝、32:18号藝、35:40号藝)

人骨は50体あまり残っていた。改葬によって人骨の回収が行われたものがほとんどであるが、無縁のため未掘のままほぼ完全な状態で現地に残された遺体は25体にもなる(第5表)。

(d-+1)	改葬0	D有無	,	20# D		
主体部	改 葬	未 掘	全身一部		無し	副葬品
翌 棺	1 4	7	7	1 3	1	8
座棺	7	1 8	1 5	1 0		1 2
臥 棺	1	2	2	1		2
骨 壺	1		1			-
不明	5			1	4	
合計	2 8	2 7	2 5	2 5	5	2 2

第5表 近代墓埋葬主体別集計表

副葬品としては、身に付けていた櫛や簪、指輪(銅製)の他、数珠玉、煙管、六道銭などがある。 7号甕棺には硯、銅製水滴、墨(?)が入っていた。また、 3 つの墓から徳利と酒杯がセットで出土した。 43号墓は破壊されているが、10代の子どもの墓で、素焼きの馬と扇を持った人形が副葬されていた(Fig. $9\cdot 10$)。同じ子どもの墓と思われる19号墓には足元に鮑の殼が添えてあった。

六道銭は、18号墓(新寛永通寳1枚)、34号墓(乾隆通寳1枚、嘉慶通寳1枚、不明1枚)、49号墓(古寛永通寳1枚、新寛永通寳5枚一マ頭通1枚含む)、51号墓(古寛永通寳1枚、寛永通寳文銭2枚、新寛永通寳3枚一マ頭通1枚含む)から出土した。箱棺の墓の場合はすべて胸元および腹部から煙管などと一緒に出土した。布が付着しており、ずたぶくろ等に入れられ、首に下げられた状態を示す出土状況である。また、48号墓および32号墓の覆土上部からそれぞれ明治10年~大正10年にかけての一銭銅貨4枚(銹着)、昭和10年の一銭銅貨が出土した。また、15号墓からは昭和17年のアルミニウム硬貨1枚、40号墓からは同じアルミニウム硬貨と思われるもの2枚(銹着・腐食)が出土した。

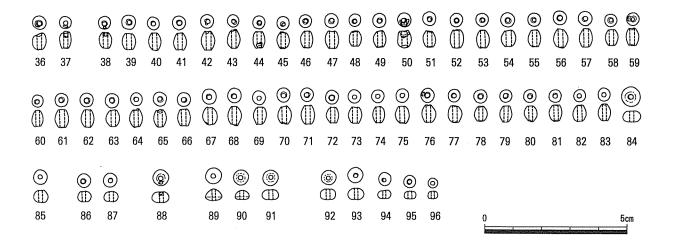
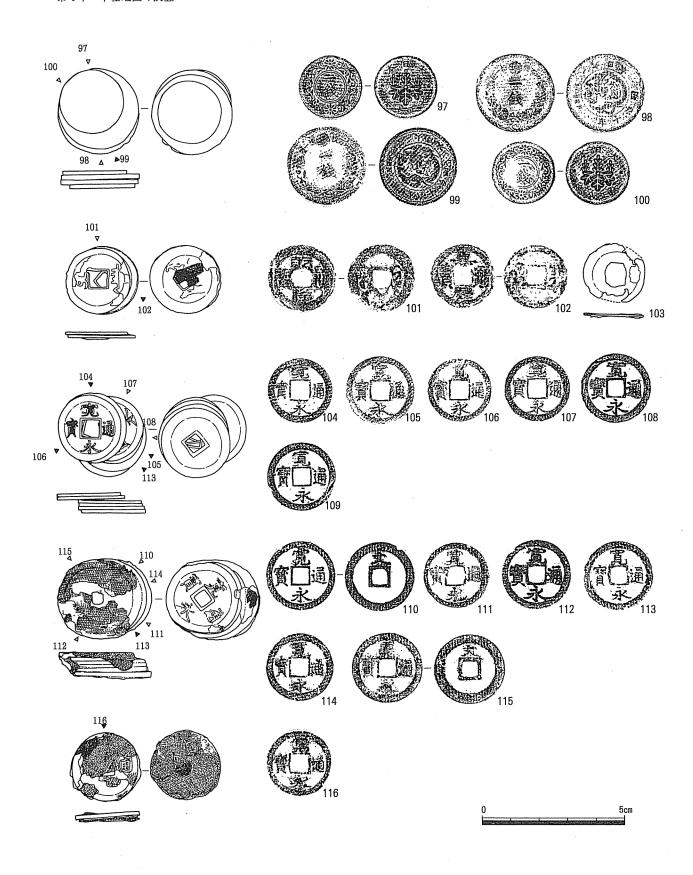


Fig.11 数珠玉実測図(3/4) (36·37:2号墓、38~84:18号墓、85:32号墓、86·87:33号墓、88:38号墓、89~91:41号墓、92~96:48号墓)



(▲は表向き、△は裏向き)

Fig.12 六道銭実測図(3/4) (97~100:48、101~103:34、104~109:49号墓、110~115:51号墓、116:18号墓)

(2)縄文時代~古代の遺構・遺物

調査区全体に8世紀後半~9世紀初めにかけての古代遺構が存在した。検出した遺構は、竪穴住居跡20基、掘立柱建物2基、土壙6基、溝3条、道路跡などがある(Fig.13)。II 区を中心に7世紀代に遡る遺構も含まれるが、十分な整理を行っていないのでその正確な数は不明である。なお、調査区中央部を流れる大溝(20号溝)は近世末以降のものである。

I区で検出した道路跡は、2 号溝と3 号溝に挟まれた幅約4 m(溝の心々で6 m)ほどのもので、ほは南北方向をとる。この2 つの溝は断面形状に差があり、出土遺物の量も第3 号溝が少ないなど、若干様相を異にしている。しかし、道路面には部分的ではあるが細かい礫を含む暗茶色褐土層が10cmほど残っており、敷き詰められた舗装面が存在した可能性がある。また、溝の間には遺構が存在しないことから、道路面と認定して間違いないであろう。2 つの溝には2 ケ所ほど両岸に3 ~ 5 本の杭を打ち込んだ痕跡があり、橋もしくは高架式の便所の可能性もある。

57号掘立柱建物址は、7号竪穴住居址に重なるように立てられたもので、長軸方向はほぼ北である。 建物の桁行4間、棟行3間で、2回ほどの建て替えが認められる。9世紀初め頃のものと考えられる。 同じ方向をもつ建物がこの建物の北東部にあるが、調査区外へ延びるため、全容不明。

この道路の側溝が埋まった後、調査区の西方向から延び、道路部分を横断して、方向を北に変えて、第2号溝に重なるように掘られている溝が第1号溝である。調査区ほぼ中央で第20号溝を挟むように幅が5mほどに拡張する部分(溜池)になり、水はこの部分から南へ流れていたと考えられる。それ以外の部分の幅は1mほどで、深さは最深部分で検出面から1.8mほどである。断面形はU字形で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は灰や焼土を混じるもので、部分的に堆積状況は異なるが、ほぼ全域に白灰色土層が50cm以上の厚さで堆積していた。2号溝に重なる部分には多量の遺物が廃棄されており、遺物の接合状況や埋土の堆積状況から、火事場処理の廃棄物を一度に溝中へ廃棄したものと考えられる。総量でコンテナ箱80個分の土器類を中心とする遺物が出土している。

<出土土器>(Fig. 14~18)

須恵器の器種には、大甕、甕、盤口壺、短口壺、坏、碗、高坏、皿、坏蓋、鉢(赤焼け)などがある。 土師器には、甕、鉢、甑、坏(回転ヘラ磨き)、碗、高坏などがある。供膳具が主体を占めるが、中でも 須恵器の碗類や土師器の回転ヘラ磨き製品の多さが目立つ。

<ヘラ書き・墨書土器> (Fig. 19·20)

土師器坏の内面にヘラもしくは刀子によって文字を刻んだものがある。280を除いてすべて焼成前の刻書である。文字としては「杉本」および「杉本寺」と書いたものが6点と一番多い。それに関連すると思われる「佛」銘がある。これらはいずれも在地産の坏である。煤が付着し、器表面の荒れも著しいことから、灯明皿として長期間使用されたものと思われる。また、「立人カ」が2点、「田井」銘が2点(うち1点は不確実)ある。296は「二カ」、289は「屎」である。また、円文を刺突する例がある。墨書土器は、文字が不鮮明かもしくは意味不明のものが多い。308~310の文字はヘラ書き土器の「立人(合)」に似る。

<その他の遺構の出土遺物> (Fig.21)

311~314は第3区第21号住居跡から出土した古墳時代前期の土師器類である。321は本調査区第5号住居址から出土した須恵器の円面硯である。海と陸部の一部で、脚部などを破損している。使用によって陸部の削りの稜が摩滅している。320は第4区の第1号住居址の竈内から出土した土師器の小型甕である。完形品。323は須恵器のつまみをもたない坏蓋で、内面中央部に朱の痕跡が認められる。朱用の皿として使用されたものである。

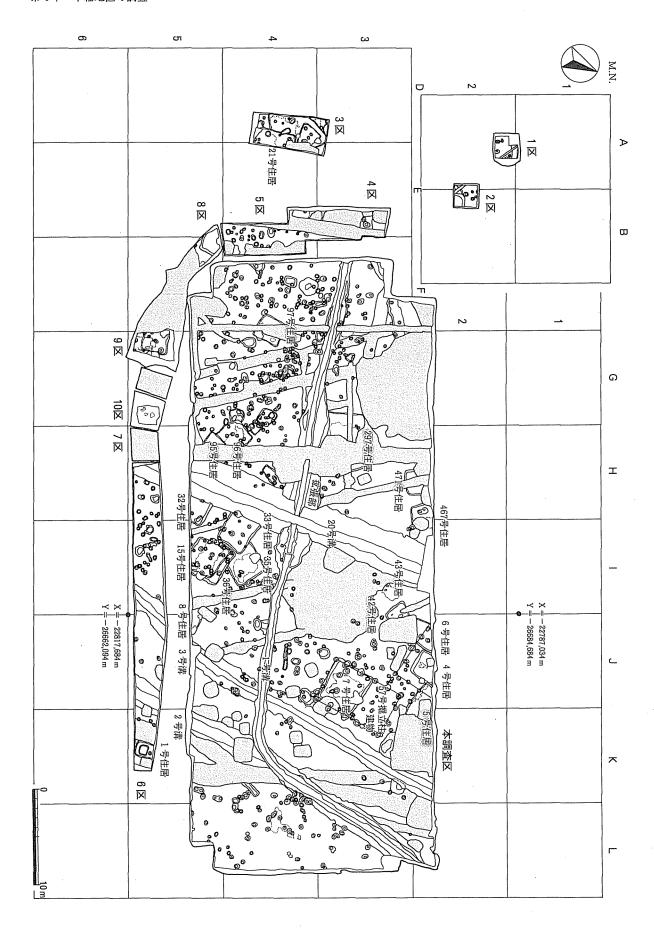


Fig.13 本庄遺跡(9601地点)遺構配置図(1/400) (図中アミ部分は撹乱・本図はカタタ Ver.3にて作成したものを再トレースした)

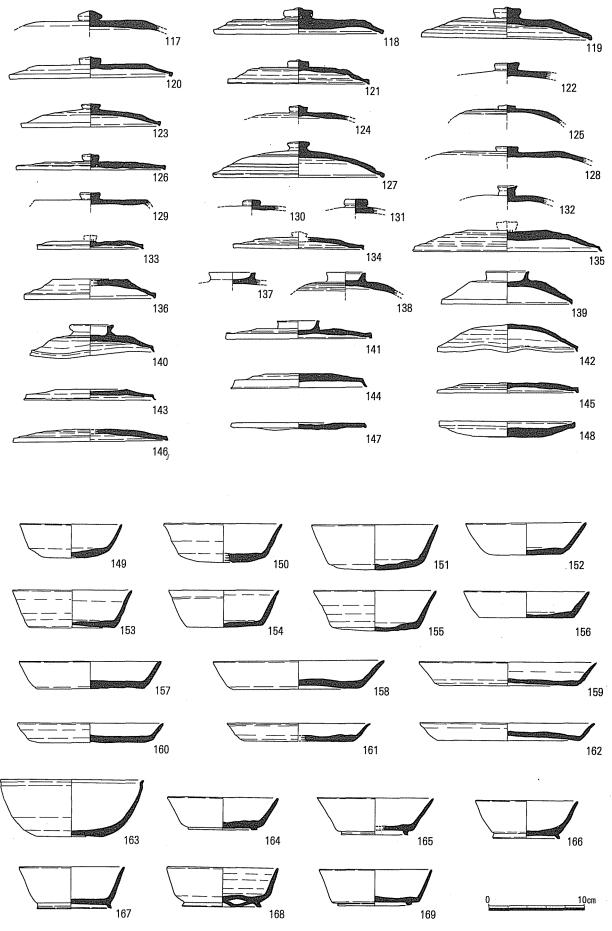


Fig.14 1号溝出土遺物実測図1 (1/4)

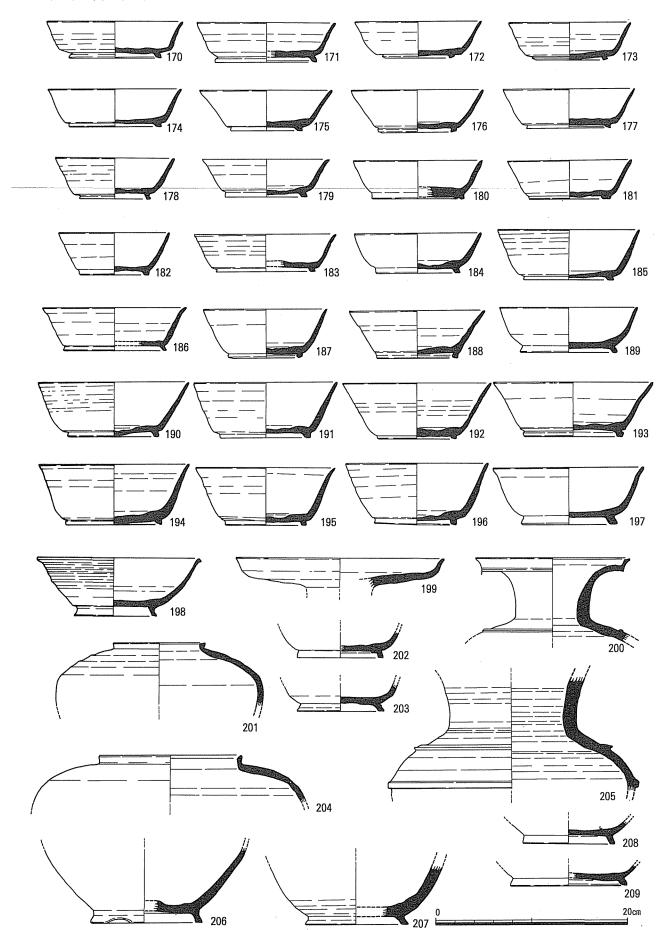


Fig.15 1号溝出土遺物実測図2(1/4)

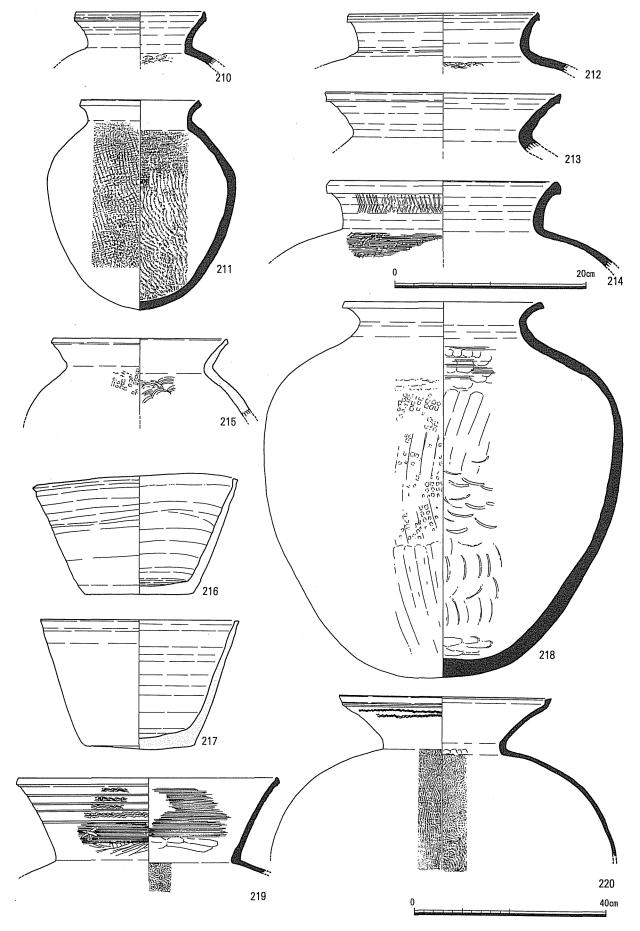


Fig. 16 1 号溝出土遺物実測図 3 (1/4·1/8)

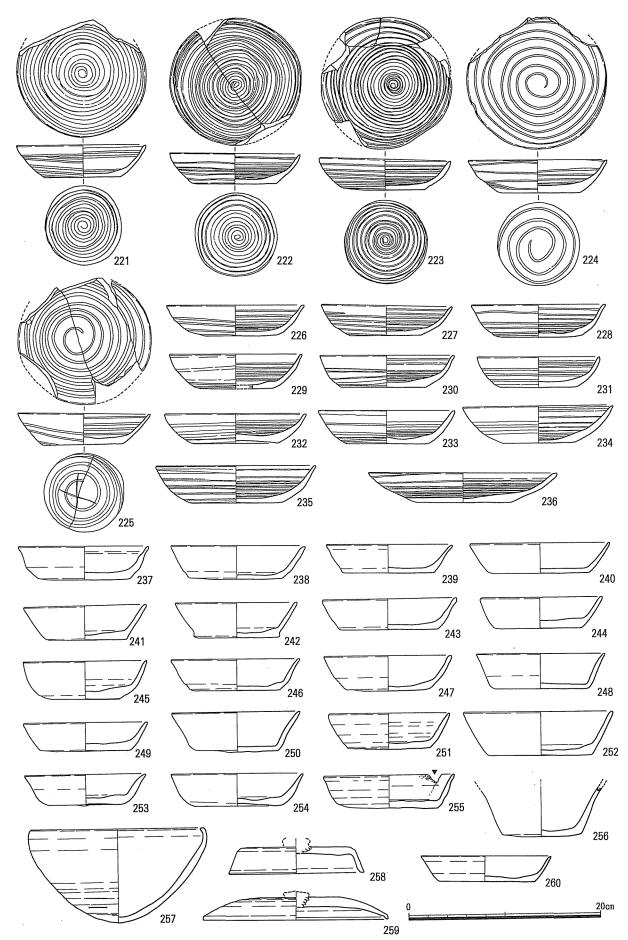


Fig.17 1号溝出土遺物実測図4(1/4)

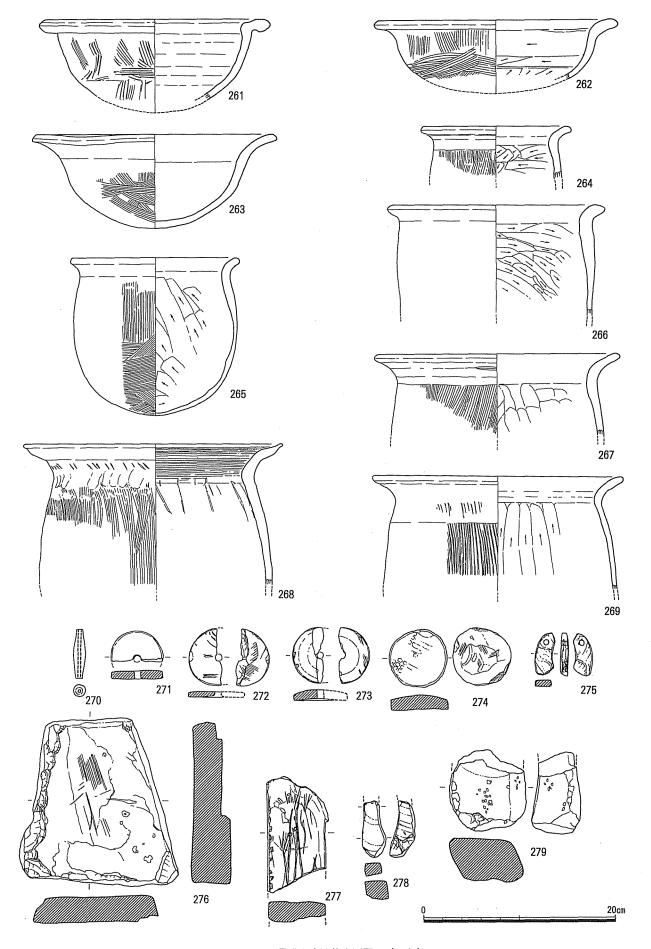


Fig.18 1号溝出土遺物実測図5 (1/4)

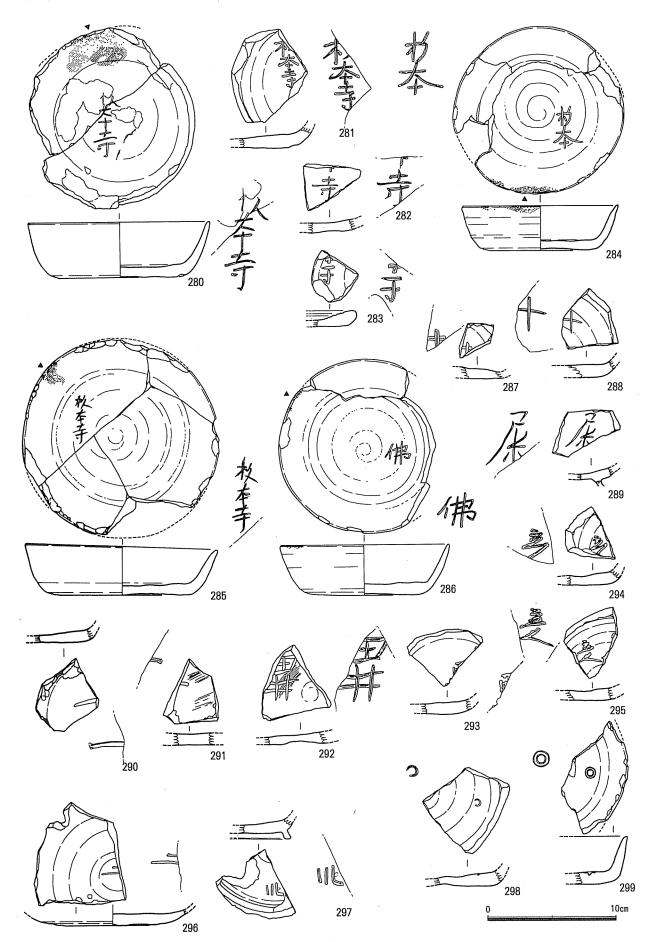
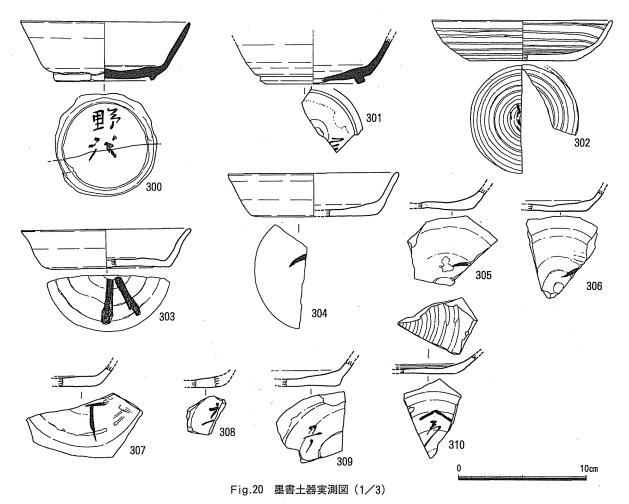


Fig.19 ヘラ書き・刻書土器実測図(1/3) (▲は煤付着部分)



挿図	番号	種別	器種	出土遺構	器高 (cm)	口径 (cm)	文 字	遺物番号	遺物番号	備考
19	280	土師器	坏	1 号溝	4.4	14.2	「杉本寺」	50615	50616	刻書
19	281	土師器	坏	1 号溝			「杉本寺」	50641		ヘラ書・灯明皿
19	282	土師器	坏	1 号溝			「(杉本)寺」			ヘラ書・灯明皿
19	283	土師器	坏·蓋?	1 号溝			「(杉本)寺」			ヘラ書
19	284	土師器	坏	1 号溝	3.5	12.4	「杉本」	108	50280	ヘラ書・灯明皿
19	285	土師器	坏	第3調査区	4.2	15.5	「杉本寺」			ヘラ書・灯明皿
. 19	286	土師器	坏	1 号溝	4	13.4	「佛」			ヘラ書・灯明皿
19	287	土師器	坏	1号溝			「寺」カ			ヘラ書
19	288	土師器	坏	1 号溝			「十」カ			ヘラ書
19	289	土師器	碗	1 号溝			「屎」			ヘラ書
19	290	土師器	坏	1 号溝			不明			ヘラ書
19	291	土師器	坏	1 号溝			不明			ヘラ書
19	292	土師器	坏	2 号溝 B			「田井」	415		ヘラ書
19	293	土師器	坏	32号住居			「田井」カ			ヘラ書
19	294	土師器	坏	1 号溝			「立(人)」			ヘラ書
19	295	土師器	坏	1 号溝			「立人」			ヘラ書
19	296	土師器	坏	包含層			「二」カ			ヘラ書
19	297	土師器	碗	2 号溝			「川」カ			ヘラ書
19	298	土師器	坏	1 号溝			円文			刺突記号
19	299	土師器	坏	1 号溝			円文	50667		刺突記号
20	300	須恵器	碗	1 号溝	4.7	13.4	野口	50341	50335	墨書
20	301	須恵器	碗	1 号溝		'	不明			墨書
20	302	土師器	坏	1 号溝			不明	50058	50076	墨曹 回転ヘラミガキ
20	303	土師器	坏	1 号溝	3.1	13.4	不明	53		墨書
20	304	土師器	坏	1 号溝	3.5	13.4	不明	50153		墨書
20	305	土師器	坏	1 号溝			不明			墨書
20	306	土師器	坏	1 号溝			不明			墨書
20	307	土師器	坏	1 号溝			不明	50027		墨書
20	308	土師器	坏	1 号溝			「立人」カ			墨普
20	309	土師器	坏	1 号溝			不明	50086		墨書
20	310	土師器	坏	包含層			不明			墨 書 回転ヘラミガキ

第6表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土ヘラ書き・刻書・墨書土器一覧表

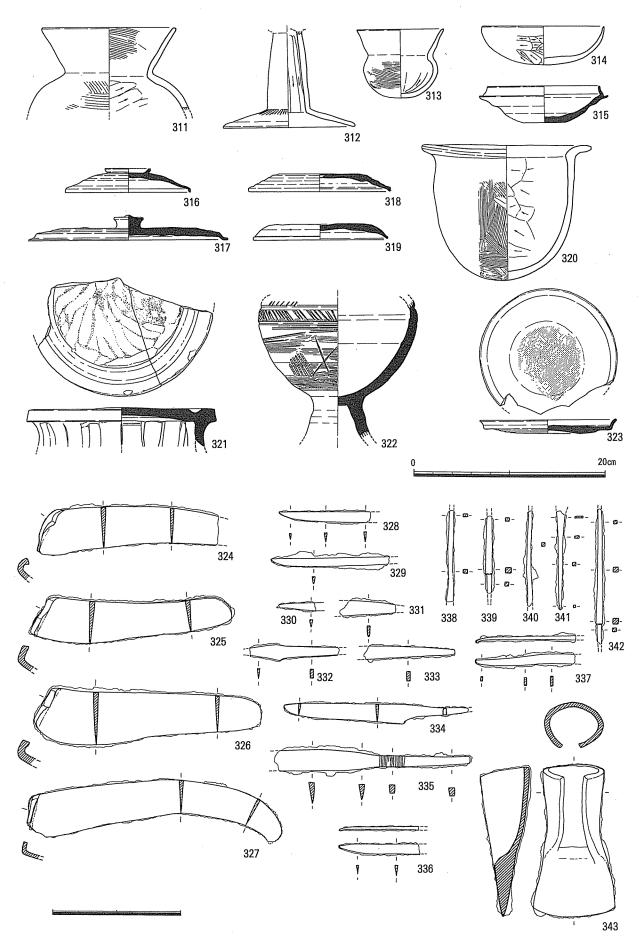


Fig. 21 各遺構出土土器·鉄器実測図(1/4·1/3)

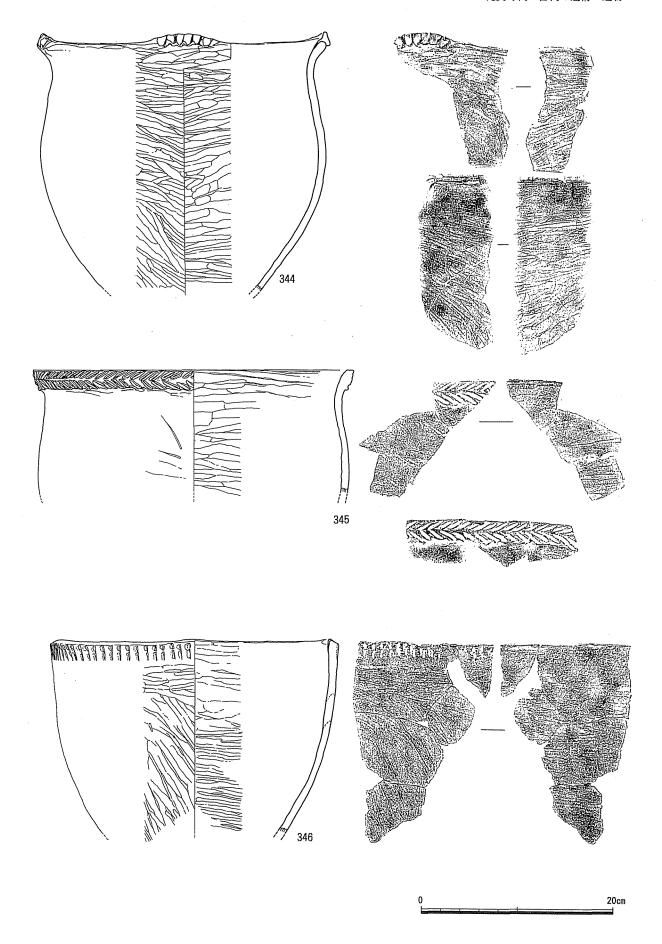


Fig.22 縄文土器実測図 (1/4)



Fig.23 縄文時代石器実測図 (1/2) 及び40号土壙実測図 (1/20)

<鉄器>(Fig.21)

鉄製品は第1号溝を中心としてここに図示した19点ほどが出土した。器種としては、鎌、刀子、鏃、斧などがある。

<縄文土器・石器> (Fig.22·23)

I·J-3·4区の 5 層を中心として、北久根山式土器の深鉢土器を主体とする縄文土器や石器が出土している。石器は第40号土壙より腰岳産黒曜石製の剥片・チップが30点ほど出土した。

4. まとめ

今回の発掘調査の成果については、調査後1ヶ月と間もないため、全体については不明の部分が多い。 ここでは、現時点で気が付いた重要と思われる問題点について述べてみたい。

遺物点数はあまり多くないが、縄文時代後期前葉に遡る深鉢土器(北久根山式)・石器類を検出できた。これは、白川沿いの北方1.2kmに位置する渡鹿貝塚とほぼ同じ時期・同タイプのもので、この一帯では初めての検出例である。また、後期後葉になると、昨年調査した医学部構内の調査地点(9509)でも若干の遺物が出土しており、今回も破片ではあるが若干出土している。包含層は黄色基盤土層上の暗褐色土中に包含層が認められ、今後は本層の精査を必要とする。

古墳時代の遺構は、前期の土師器をもつ第3区第21号住居址がある。付近一帯における該期の遺構の発見は今回が初めてであり、点的な発見ながらその意義は大きい。また、II区を中心に古墳時代後期の遺物も出土することから、古墳時代の遺構の広がりは調査区のより西側に求められよう。

古代に関しては、ほぼ南北方向をとる道路跡を検出できたことは大きな成果である。この道路は、熊 本平野の条里復元案の里境から1町西にふれた坪境に相当し、この一帯まで条里が施行されていた可能 性を示すものである。また、この道の廃絶後、方向の異なる溝(1号溝)が掘削され、8世紀後半~9 世紀初めにかけての遺物を多量に含んでいた。ヘラ書き土器中に表れる「杉本寺」は、その位置や性格 は現時点では確定できないが、肥後国詫間郡村誌の渡鹿村および戸島村の項に、「杉本(スギノモト)」 の字地名が見られる。遺跡周辺の大江遺跡群や新屋敷遺跡、渡鹿遺跡などでの発掘調査によって、現在 まで約50点ほどの墨書土器やヘラ書き土器が発見されているが、今回の調査例は、未実測品も含めて35 点ほどであり、一調査地点からの出土数としては大量出土の部類に入る。また、「田井」の字体は、大江 遺跡41次調査や同16次調査で出土したものときわめてよく似ている。これらの同じ地名・場所名を示す ものが、離れた地点から出土する理由は今のところ判然としない。しかし、本調査地点では、ヘラ書き 土器に灯明皿として使用されたものが多いことやそれとともに坏蓋を利用した墨・朱皿、須恵器の円面 硯・刀子などが出土していることから、集落内に識字層が存在したことは明らかである。また、同タイ プの須恵器碗や回転ヘラ磨きの坏が多いことやほぽ完全に近い形のものが焼土や灰とともに一気に廃棄 されていることなどは、多量の供膳具を有する大型建物が存在し、その火事場処理を行ったものと考え られ、単に字の書かれた土器を集落に持ち込んだという性格のものではない。ただし、それに相当する 建物は調査区北東部分で2棟あまりの掘立柱建物を確認しているにすぎず、今後は、周辺とくに調査区 の北側部分の調査が重要と思われる。

また、近代墓地の調査においては、西方浄土を向いた墓が古く、その後は墓域(区画)に規制された方向や配置を取ることが確かめられた。箱棺から甕棺へ、そして長棺へと埋葬施設の変化が認められたこと、また、遺体安定のために大鋸屑や籾殻、鉋屑などを棺に入れることなどは、民俗資料や伝聞に一致した。死者に鮑を添えることは北九州市の京町永照寺近世墓地や山口県大河浜遺跡の近世墓にも認められる。また、幼児に蛤を副葬することは福岡市席田青木遺跡でも認められ、まだ少ない例ではあるが、貝副葬の風習として共通するものがあり、興味深い。さらに寛永通寳を基軸とする六道銭副葬が明治初期まで確認されたこと、その一部に清銭が使用されていたことなどは、銭貨流通史や六道銭埋葬の風習に関する歴史を知る上で貴重な資料となった。

第4章 本荘地区の調査

挿図	図番号	種 別	器種	出土遺構	出土層・位置		口径 (cm)	遺物番号	遺物番号	遺物番号	遺物番号	備考
8	1	陶器	甕棺	34号墓		79.5	51					肩部「本」刻書、回転ヘラミガキ
8	2	陶器	甕棺	12号墓		81.2	55.8					
8	3	陶器	整棺	20号墓		84.2	47.7					肩部に「士」銘印・底部に「大三?」 銘題も
8	4 5	陶器 陶器	選棺 甕棺	26号墓 35号墓		78.4 77.8	49					肩部に「丸二」銘印
8	6	陶器	翌棺	45号墓		54	47.1 32.8					肩部に「丸?」銘印
8	7	陶器	整棺	16号墓		50.3	30.9			ļ		Mid upter 1 Yu : 3 June
8	10	白磁	骨壷	42号墓		16.2	10.2					
9	11	磁器	猪口	35号墓		2.7	6.6					金粉文字
9	12	磁器	猪口	36号墓		2.9	6.9					釉の上に呉須で模様を描く
9	13	磁器	猪口	15号墓		3.1	7.2					金粉文字「相撲」ほか
9	14	磁器	徳利	35号墓		16	2.8					
9	15	磁器	徳利	36号墓		16	2.7					染付
9	16	磁器	徳利	15号墓		19.3	2.6					染付
14	117	須恵器	坏蓋	1号溝				50469				
14	118	須恵器	坏蓋	1号海	中層	2.8	18	51	50105			
14 14	119 120	須恵器 須恵器	坏蓋 坏蓋	1 号溝 1 号溝		3.2 2.3	18 17.2	50274 50158	50137 50143	50321		
14	121	須恵器	坏蓋	1号牌		2.7	15	50195	00140			
14	122	須恵器	坏蓋	1号海	中層	2.1	10	00100				
14	123	須恵器	坏蓋	1 号溝	1 /144	2.5	14.8	50449				
14	124	須恵器	坏蓋	1 号溝	上層				1			
14	125	須恵器	坏蓋	1 号溝				50028				
14	126	須恵器	坏蓋	1 号溝		1.7	15.8	71				
14	127	須恵器	坏蓋	1 号溝		3.8	18.2	50352				
14	128	須恵器	坏蓋	1号溝				50112				
14	129	須恵器	坏蓋	1号游	拡1層							20号溝西
14	130	須恵器	坏蓋	1号海	中層							
14	131	須恵器	坏蓋	1号溝				50352				
14 14	132	須恵器 須恵器	坏蓋 坏蓋	1 号溝 1 号溝			11.3	50300				
14	134	須忠器	坏蓝	1号游			14.8	50537 50504				
14	135	須恵器	坏蓋	1号牌		1	20	50161	50294			
14	136	須恵器	坏蓋	1 号溝		2.1	14	50651				つまみ無
14	137	須恵器	坏蓋	1 号溝	Ⅱ区2層							·
14	138	須恵器	坏蓋	1 号溝	Ⅱ区2屆							
14	139	須恵器	坏蓋	1号溝		3.5	13.8	50619	50628			
14	140	須恵器	坏蓋	1 号溝	拡1層	3.5	13,2	50646				
14	141	須恵器	坏蓋	1号溝	1号游付近揽乱	2	15.5					
14	142	須恵器	坏蓋	1号海	Ⅱ区1層	3	15	50560				
14	143	須恵器	坏蓋	1号溝	上層	1.1	14	12				
14 14	144	須恵器 須恵器	坏蓋 坏蓋	1 号溝 1 号溝		1.5 1.1	14.4 15	50162 50				
14	146	須恵器	坏蓋	1号牌	拡1層	1.1	16.4	30				
14	147	須恵器	坏蓋	1号溝	下層	0.9	14.4	50281				つまみ無
14	148	須恵器	蓋(墨皿)	1 号溝	,	1.7	19.4	50302				
14	149	須恵器	坏	1 号溝		3.5	10.8	50493				
14	150	須恵器	坏	1 号溝		4.1	12.6	50460				
14	151	須恵器	坏	1 号溝	拡1層	4.8	13.2					
14	152	須恵器	坏	1 号游		3.4	12.8	50095				
14	153	須恵器	坏	1号溝		4	12	18				
14	154	須恵器	坏	1号溝	1 57	3.9	11.6	50127	50346			
14	155	須恵器	坏	1号溝	1層	4.3	13	50400				
14 14	156 157	須恵器 須恵器	坏皿	1 号溝 1 号溝	4 層・白色灰層上	3.3 2.9	13.3 15	50661	1			
14	158	須忠帝 須恵器	1111	1号牌		3	18.2	60	50304			
14	159	須恵器		1号溝		2.5	18.8	50451	00004			
14	160	須恵器		1号牌		2.1	15.5	50365	50365			
14	161	須恵器	ш	1 号溝	白色灰層上	1.9	15.2					
14	162	須恵器	m	1号溝		1.8	18.6	50414	50467			
14	163	須恵器	坏	1号溝	2 層	6	15.2					
14	164	須恵器	随	1 号溝		3.4	11.8	50404				
14	165	須恵器	碗	1 号溝		3.9	12.2	50484				
14	166	須恵器	碗	1号溝		4	10.9	50071				
14	167	須恵器	碗	1号海		4.4	11.2	50334	50344			
14	168	須恵器	破	1号海	•	4.2	11.9	142				
14	169	須恵器	碗	1号溝		3.9	11.8	50209				
15	170	須恵器	破	1号海	Ⅱ区1層・2区拡2層	3.9	14.2	50644				
15 15	171 172	須恵器 須恵器	碗碗	1 号溝 1 号溝	根下層・ベルト1層	4.2	14.8	50380 50367				
15	172	須思器 須恵器	碗	1号牌	最下層・ベルト4層 ベルト4層	3.9 3.95	13.4 13	50367				
15	174	須恵器	碗	1号海	拡2層	4	14.1	00001				
15	175	須恵器	碗	1号牌	2層下部	4.3	14.1	50404				
15	176	須恵器	碗	1号溝	上層	4.5	14	49	50104			
	177	須恵器	碗	1号溝	上層	4.2	14	36		1		

第7表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土土器・陶磁器一覧表

- 挿図	図番号	種 別	器種	出土遺構	出土層・位置	器高 (cm)	口径 (cm)	遺物番号	遺物番号	遺物番号	遺物番号	備 考
15	1.78	須恵器	碗	1号游		4.4	12.6	50047	50048	50050		
15	179	須恵器	碗	1号海	1 層・2 層上・中層	4	13.6					下層
15	180	須恵器	碗	1号溝		4.1	13.6	50384				
15	181	須恵器	碗	1号溝		4.1	13.1	50519				
15	182	須恵器	随	1号海		4.5	11.8	50331	50385			
15 15	183 184	須恵器	碗碗	1号溝	Ⅱ区1層	4	15	FORCO			1	
15	185	須恵器 須恵器	碗	1号溝		4.3 5.4	13.3	50363	E000E			
15	186	須恵器	Wi.	1 号海 1 号海		4.6	15 15	50278 50117	50285 50141			
15	187	須恵器	碗	1号牌		6.2	13.1	120	50098	50357		
15	188	須恵器	碗	1号牌		5.1	14.3	138	00030	00001	[
15	189	須恵器	碗	1号溝	2 屆	4.8	14.6	100				
15	190	須恵器	碗	1 号溝	1,44	5.8	15.8	50295				
15	191	須恵器	碗	1 号游		5.9	15.1	50206	50220			
15	192	須恵器	碗	1 号游	包含層	5.9	15.8	85	89			
15	193	須恵器	碗	1 号游		5.8	16.8	50006		İ		
15	194	須恵器	碗	1号溝	上屆	6.4	16	7				
15	195	須恵器	碗	1号游		7.1	14.8	50296	50315	50323		
15	196	須恵器	碗	1号海		6.6	15	43	50080			
15	197	須恵器	碗	1号游	.1. Em 199. em	6.1	16	50406	50407			
15	198	須恵器	碗	1号游	中層・撹乱	6.2	16.2	=====				A
15 15	199 200	須恵器 須恵器	高坏 長頚壺	1 号游 1 号游		8.2	22	50592				全面に自然釉付着
15	200	須忠器	短頭壺	1号牌	上層	0.2	16.4 9.8	50340				内・外面ともに自然釉付着
15	201	須忠辭 須恵器	- 並 - 並	1号牌	上が		9.6	25 50207				胴部径21cm
15	203	須恵器	董	1号海				50681				
15	204	須恵器	短頚壷	1号游			15.2	185				残存高さ4.9cm
15	205	須恵器	壶	1 号游	批乱			50270				72(1) (a) C 1.10 cm
15	206	須恵器	長頚壷	1号溝	1号游付近搅乱							
15	207	須惠器	並	1 号溝	1号游付近撹乱							
15	208	須恵器	壶	2 号溝				227				
15	209	須恵器	並	1号溝				50375				
16	210	須恵器	班	1号溝		61	13.6	50171	l	1		
16	211	須恵器	遯	1号溝	1 号溝付近撹乱	22.3	12.3	50172	50176			胴部20cm
16	212	須恵器	甕	1号海	不明		20.4	50362				
16	213	須恵器	题	1号游	1 周		25					残存高さ5.8cm
16	214	須惠器	悪	1号游			24.9	15204				
16 16	215 216	類恵器 土師器	班 鉢	1号游	下唇	105	18.5	50610	50000	50000		
16	217	五m 研 須恵器	鉢	1 号游 1 号游	r ASI	12.5 13.7	21.7 21	50121 50114	50328 50136	50393		同·佐·林·上· ==
16	218	須恵器	驱	1号牌		39.8	21	50172	50175	50181	50183	回転横ナデ 自然釉が多く付着
16	219	須恵器	大甕	1号海	Ⅱ区拡張1層	00.0	56	50488	50563	50611	50634	EMMO-SYNA
16	220	須惠器	大甕	1号游			55.8	50055	50062	50063	50064	50093 · 50324
17	221	土師器	坏	1 号游		3.4	13.7	50090	50094			回転ヘラミガキ
17	222	土師器	坏	1号游		3.2	13.8	50125	50113			回転ヘラミガキ
17	223	土師器	坏	1 号溝		3.3	13.9	50333				回転ヘラミガキ
17	224	土師器	坏	1号游		3.5	14.7	50083			1	回転ヘラミガキ
17	225	土師器	坏	1 号溝	白色灰層上	3.3	14.1	50072	50102			回転ヘラミガキ
17	226	土師器	坏	1号游		3.3	14.6	50293	50317			
17	227	土師器	坏	1号溝		3.2	13.9	50134	50316			
17	228	土師器	坏	1号游	拡2層	3.5	14.1	50453				
17	229	上師器	坏	1号游	拡張部 1 層20号溝西	3.7	17.6				1	
17 17	230	上師器	坏	1号牌	L. TE	3.4	14.3	55	50081			
17	231 232	土師器	坏坏	1号游	上一下層	3.3	13	50471				
17	232	土師器 土師器	坏坏	1 号溝 1 号溝		3.2	15 14.4	50471 50152			1	
17	234	上師器	坏坏	1号牌	中層	3.9	16	00192				
17	235	土師器	坏	1号牌	2層	4	17					
17	236	土師器	坏	1号牌	拡1·3層	3.2	19.9					
17	237	上師器	坏	1 号溝	拡2層	3.6	13.8					
17	238	土師器	坏	1 号溝	••	3.6	14.2	50680			1	
17	239	土師器	坏	1号溝		3	13.4	160	50342		1.	
17	240	土師器	坏	1 号游		3.2	14.8	50459			1	
17	241	土師器	坏	1 号溝		3.6	13	50003				
17	242	土師器	坏	1 号游		3.7	13	50392			1	
17	243	上師器	坏	1号游		3.2	14.3	50119	50126			
17	244	上師器	坏	1号游	上屆	3.3	12.9	52			İ	
17	245	上師器	坏	1号海		4	13	50450				
17	246	土師器	坏	1号掛		3.3	13.6	76	50108	50275		
17 17	247 248	土師器	坏坏	1号海		3.7	13.5	50139	50314			
17	248	土師器 土師器	坏 坏	1 号溝 1 号溝		3.3	13.5 13	50266 50097	50267			
17	250	土師器	坏坏	1号牌	Ⅱ区拡2・3層	4	13.7	50097				
17	251	土師器	坏	1号游	- PANO OIM	3.8	12.8	50197				
17	252	土師器	坏	1号游		5.5		50243	50249	50268		
	·		·····	- ",		l	L			1	L	

第7表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土土器・陶磁器一覧表

第4章 本荘地区の調査

挿図	図番号	種 別	器種	出土遺構	出土層・位置	器高 (cm)	口径 (cm)	遺物番号	遺物番号	遺物番号	遺物番号	備考
17	253	土師器	坏	1 号溝	3 屆	3.2	12.8					
17	254	土師器	坏	1号溝		3.4	13.9	50655				
17	255	土師器	坏	1 号溝		3.5	13.4	50360				欠損後、灯明皿
17	256	土師器	坏	1号溝				50454				
17	257	土師器	鉢	1号溝		10	18.5	50429	50431			
17	258	土師器	坏蓋	1・2 号溝			14.4	241	50036			
17	259	土師器	坏蓋	1号海			19.6	50521				
17	260 -	土師器	坏	1号游		2.7	13.7	50303				
18	261	土師器	鉢	1 号溝	拡1·2層、1層		22	50480				
18	262	土師器	鉢	1号海	下層		26	50132	50308			
18	263	土師器	鉢	1 号溝	中層 下層	9.9	26	81	50133	50157		ハケ調整
18	264	土師器	甕	1 号溝			16	50225				
18	265	土師器	荖	1号溝	中層・下層	11.2	18.4	50100	50111	50115	50116	
18	266	土師器	塾	1号溝			17	50466				
18	267	土師器	甕	1 号溝				50434				
18	268	土師器	甕	1号海			28	50458				
18	269	土師器	塾	1 号海			26.7	50185	50187	50188		
21	311	土師器		第3区21号住居								
21	312	土師器	高坏	第3区21号住居	P18							
21	313	土師器	坩	第3区21号住居	P22 P35	7.4	9.2					回転指ナデ
21	314	土師器	坏	第3区21号住居	P28 P15	4.2	12.9					
21	315	須恵器	坏	第3調査区	P27	3.9	11.8					
21	316	須恵器	坏蓋	第3調査区	P5	2.6	13.2					
21	317	須恵器	坏蓋		搅乱	3.2	21					
21	318	須恵器	坏蓋		找乱	1.9	15					つまみ無
21	319	須恵器	坏蓋	第3調査区	包含層	1.7	14.2					
21	320	土師器	遼	5区1号住	箍	13.9	13					
21	321	須恵器	円面硯	5号住居址								
21	322	須恵器	台付壺	3 号海				40060				
21	323	須恵器	蓋(朱皿)	第3調査区	P 9	1.4	14					
22	344	縄文土器	深鉢形土器	包含層			30	90072	90073	90074	90075	(参考) 第8区1号住居
22	345	和文土器	深鉢形土器	包含層	攪乱	1	34	90106	90107	90108	90117	口緑部に文様
22	346	和文土器	深鉢形土器	370号ピット	1号溝1層		30.6					

第7表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土土器・陶磁器一覧表

挿図	図番号	種 別	器種	出土遺構	出土層・位置	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材 質	遺物番号	備考
8	8	石製品	墓石	33号基上		828	271	113		安山岩		「松島○○墓」銘
8	9	石製品	甕棺蓋石	12号墓	*	540	535	75		凝灰岩		裘面「明治三十四年四月二日没戸澤國」銘
9	17	土製品	馬置物	43号基		130.	119	49	120	土		
10	18	銅製品	煙管雁首	51号墓		39	9	14	10.8	銅・竹		布付着
10	19	銅製品	煙管吸口	51号基		68	8.5	7.5	10.8	銅・竹		布付着
10	20	鋼製品	煙管雁首	7号墓		26	9.1	12.5	4.3	銅・竹		布付着
10	21	銅製品	煙管吸口	7号墓		31	5.9	16	3,8	銅・竹		布付着
10	22	鋼製品	煙管雁首	36号墓		36	11.25	13	9.2	銅・竹		
10	23	銅製品	指輪	44号墓上		14.5	20	1,25	2.1	青銅		
10	24	銅製品	指輪	28号墓		5	19	1	0.7	背銅		
10	25	石製品	簪玉	7号墓		18.95	17.02		8.5	瑪瑙		オレンジ色
10	26	石製品	簪玉	12号墓		18.75	18.82		7.8	瑪瑙		オレンジ色
10	27	銅製品	金具	51号墓		18.5	15	1,35	0.4	背銅		布付着
10	28	₩	盈	7号墓		31	14	9	2.4	炭		
10	29	銅製品	水滴	7号墓		22	23	6	3.5	銅		
10	30	石製品	硯	7号墓		46	30	5	10.6	粘板岩		朱付着
10	31	銅製品	笹	7号墓		10	18	18	1.1	銅		
10	32	鋼製品	審	18号墓		136.5	5	2.5	4.7	背銅		
10	33	木製品	櫛	12号墓		20.5	6.5	0.95	10	木製		
10	34	木製品	櫛	12号墓		31	167	0.45	15	木製		
10	35	ブラスチック	櫛	40号基		144	30	5	10.6	プラスチック		黄色 歯6本欠けている
11	36	ガラス製品	数珠	2号墓		6	4.5		0.1	白色ガラス(不透明)		歯が欠ける
11	37	ガラス製品	数珠	2号墓		6.1	3,9		0.1	純色不透明ガラス		
11	38	ガラス製品	数珠	18号墓		5.1	4.3		0.2	透明ガラス		
11	39	ガラス製品	数珠	18号墓		5.7	4.95		0.3	透明ガラス		
11	40	ガラス製品	数珠	18号基		5.95	4.2		0.2	透明ガラス		
11	41	ガラス製品	数珠	18号墓		5.9	4.5		0.2	透明ガラス		
11	42	ガラス製品	数珠	18号墓		6.5	4.5		0.2	透明ガラス		
11	43	ガラス製品	数珠	18号墓		6.5	4.15		0.2	透明ガラス		
11	44	ガラス製品	数珠	18号墓		5.4	4.25		0.2	透明ガラス		
11	45	ガラス製品	数珠	18号墓	•	5.15	4.15		0.2	透明ガラス		
11	46	ガラス製品	数珠	18号墓		5.65	4.2		0.2	透明ガラス		
11	47	ガラス製品	数珠	18号墓		6.1	4.8		0.2	透明ガラス		
11	48	ガラス製品	数珠	18号墓		5.15	4.15		0.2	透明ガラス		
11	49	ガラス製品	数珠	18号墓		5.3	4.3		0.2	透明ガラス		
11	50	ガラス製品	数珠	18号墓		5.5	4.7		0.3	透明ガラス		少し黄色味
11	51	ガラス製品	数珠	18号墓		5.6	4.4		0.2	透明ガラス		

第8表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土石器・金属器・ガラス製品一覧表

	号 備 考 赤色顔料付着
11 55	が己族行う有
11 55	
11 56	
11 57 ガラス配 数珠 18号器 5.9 5.1 0.39 通明ガラス 11 58 ガラス配 18号器 18号器 5.5 5.7 4.8 0.2 通明ガラス 11 60 ガラス配 数珠 18号器 6.1 4.3 0.2 通明ガラス 11 61 ガラス配 数珠 18号器 6.1 4.8 0.2 通明ガラス 11 62 ガラス配 数珠 18号器 6.1 5 0.2 通明ガラス 11 62 ガラス配 数珠 18号器 6.15 4.55 0.2 通明ガラス 11 63 ガラス配 数珠 18号器 6.15 4.55 0.2 通明ガラス 11 65 ガラス配 数珠 18号器 5.8 4.5 0.2 通明ガラス 2 近明ガラス 2 近月ガラス 2 近月	
11 58 ガラス配 製味 18号高 5.85 4.55 0.2 透明ガラス 18 日本 1	
11 59 ガラス製品 飲味 18号高 18号高 6.1 4.3 0.2 透明ガラス 2月 2月 2月 2月 2月 2月 2月 2	
11 60 ガラス製品 数珠 18号塞 6.1 4.8 0.2 透明ガラス 18号塞 18号塞 6.1 4.8 0.2 透明ガラス 11 62 ガラス製品 数珠 18号塞 5.5 4.8 0.2 透明ガラス 2 近明ガラス 2 近月ガラス 2 近月ガラス 2 近月ガラス 2	
11 61 グラス程島 数珠 18号語 6.1 4.8 0.2 透明ガラス 11 62 グラス程島 数珠 18号語 6.1 5 0.2 透明ガラス 3明ガラス 3月がカス 4月がカス 3月がカス 4月がカス 3月がカス 3月がカス 3月がカス 4月がカス	
11 62 ガラス基晶 数珠 18号高 5.5 4.8 0.2 透明ガラス 透明ガラス 11 64 ガラス製品 数珠 18号高 5.5 4.8 0.2 透明ガラス 3週ガラス 3月の大製品	
11 63 ガラス製品 数珠 18号磁 6.15 4.55 0.2 透明ガラス 11 66 ガラス製品 数珠 18号磁 5.7 4.85 0.2 透明ガラス 11 66 ガラス製品 数珠 18号磁 5.8 4.5 0.2 透明ガラス 11 67 ガラス製品 数珠 18号磁 5.8 4.5 0.2 透明ガラス 3時明ガラス 11 69 ガラス製品 数珠 18号磁 5.8 4.6 0.2 透明ガラス 3時明ガラス 3時期ガラス 3時間ガラス 3時間ガ	
11 64 グラス県品 数珠 18号部 5.7 4.85 0.2 透明ガラス 透明ガラス 11 65 グラス県品 数珠 18号部 5.8 4.5 0.2 透明ガラス 透明ガラス 3明ガラス 3月ガラス 3明ガラス 3明ガラス 3月ガラス	
11 66 ガラス製品 数珠 18号高 5.8 4.5 0.2 透明ガラス 透明ガラス 近明ガラス 近日ガラス 近日	
11 67 ガラス製品 数珠 18号部 18号和	
11 68 ガラス製品 数珠 18号高 5.9 4.6 0.2 透明ガラス 11 70 ガラス製品 数珠 18号高 6.15 4.9 0.2 透明ガラス 11 71 ガラス製品 数珠 18号高 6.15 4.9 0.2 透明ガラス 11 72 ガラス製品 数珠 18号高 6.3 4.8 0.2 透明ガラス 11 73 ガラス製品 数珠 18号高 6.4 4.45 0.2 透明ガラス 11 73 ガラス製品 数珠 18号高 6.2 4.6 0.3 透明ガラス 11 75 ガラス製品 数珠 18号高 5.8 4.95 0.2 透明ガラス 11 76 ガラス製品 数珠 18号高 5.8 4.95 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号高 5.8 4.95 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号高 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号高 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号高 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号高 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号高 5.4 4.5 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号高 5.4 4.5 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号高 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号高 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号高 5.3 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号高 5.3 4.7 0.2 透明ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 18号高 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 18号高 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 18号高 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 41号高 3.8 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号高 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号高 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号高 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号高 2.4 3.25 0.1 近色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号高 2.4 3.25 0.1 丘色ガラス 12 90 数 株 48号高 2.4 3.25 0.1 近色ガラス 12 10 数 大直線 48号高 2.4 3.25 0.1 1.6 7.1 到 1.2 3.8 到 1.3 3.8 到 1.2 3.8 到 3.4 3.8 3.8 3.5 3.5 3.5 3.5 3.8	•
11 69 ガラス製品 数珠 18号部 6.15 4,9 4.6 0.2 透明ガラス 11 70 ガラス製品 数珠 18号部 6.3 4.8 0.2 透明ガラス 11 72 ガラス製品 数珠 18号部 6.3 4.8 0.2 透明ガラス 11 72 ガラス製品 数珠 18号部 6.4 4.45 0.2 透明ガラス 11 73 ガラス製品 数珠 18号部 6.2 4.6 0.3 透明ガラス 11 75 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.95 0.2 透明ガラス 11 76 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.95 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.95 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号部 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号部 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号部 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号部 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号部 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 5.8 4.7 0.2 近明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号部 3.3 5.8 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 18号部 3.3 5.5 5.8 0.2 白色ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 18号部 3.3 5.5 5.8 0.2 白色ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 18号部 3.3 5.5 5.8 0.2 白色ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 18号部 3.3 5.5 5.8 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号部 3.5 5.0 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号部 3.5 5.0 0.2 白色ガラス 11 99 ガラス製品 数珠 48号部 3.5 5.15 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号部 3.5 5.15 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号部 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 1.2 8.8 第 1.2 8.8 第 1.2 8.8 第 1.3 3.8	
11	
11 71 ガラス製品 数珠 18号盛 5.4 4.45 0.2 透明ガラス 透明ガラス 近明ガラス 近日ガラス 近	
11 72 ガラス製品 数珠 18号塞 6 4.9 0.2 透明ガラス 近明ガラス 近月ガラス 近日ガラス 近日ガラ	
11	
11 75 ガラス製品 数珠 18号塞 5.8 4.95 0.2 透明ガラス 11 76 ガラス製品 数珠 18号塞 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号塞 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 78 ガラス製品 数珠 18号塞 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号塞 5.45 4.45 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号塞 5.3 4.53 0.2 透明ガラス 11 81 ガラス製品 数珠 18号塞 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 82 ガラス製品 数珠 18号塞 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 82 ガラス製品 数珠 18号塞 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 82 ガラス製品 数珠 18号塞 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 83 ガラス製品 数珠 18号塞 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 18号塞 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 85 ガラス製品 数珠 18号塞 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号塞 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号塞 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号塞 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 33号塞 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 89 ガラス製品 数珠 41号塞 4.05 5.8 0.2 ブルーガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 41号塞 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 41号塞 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 41号塞 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 41号塞 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 41号塞 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 41号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 41号塞 2.4 3.25 0.1 近明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 41号塞 2.4 3.25 0.1 近明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 41号塞 2.4 3.25 0.1 近明ガラス 11 1 96 ガラス製品 数珠 41号塞 2.4 3.25 0.1 1.55 7 銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.29 2 2.34 1.1 1.7 銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.29 2 2.34 1.1 1.7 銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.29 2 2.34 1.1 1.7 銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.29 2 2.34 1.1 1.7 銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.29 2 2.34 1.1 1.7 銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 2.29 1.3 3.7 銅 12 1.4 7 前 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 2.29 1.3 2.1 2.4 7 前 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 2.29 7 2.29 7 1.2 2.9 青銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 1.2 2.9 青銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 1.2 2.9 青銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 1.2 2.9 青銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 1.2 2.9 青銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 1.2 2.9 青銅 12 100 数 六直数 41号塞 2.26 2.27 1.2 2.9 青銅 12 100 数 12 41号率 2.26 2.27 1.2 2.9 青銅 12 100 数 12 41号率 2.2	
11 76 ガラス製品 数珠 18号墓 5.9 4.6 0.2 透明ガラス 11 77 ガラス製品 数珠 18号墓 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号墓 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号墓 5.3 4.53 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号墓 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号墓 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 83 ガラス製品 数珠 18号墓 5.2 4.5 0.2 透明ガラス 11 83 ガラス製品 数珠 18号墓 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 18号墓 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号墓 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 41号墓	
11 77 ガラス製品 数珠 18号塞 5.6 4.7 0.2 透明ガラス 11 78 ガラス製品 数珠 18号塞 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号塞 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 81 ガラス製品 数珠 18号塞 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 81 ガラス製品 数珠 18号塞 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 81 ガラス製品 数珠 18号塞 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 18号塞 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 18号塞 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号塞 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 33号塞 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 41号塞 <	
11 78 ガラス製品 数珠 18号盛 5.4 4.6 0.2 透明ガラス 11 79 ガラス製品 数珠 18号盛 5.45 4.45 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号盛 5.3 4.44 0.2 透明ガラス 11 81 ガラス製品 数珠 18号盛 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 82 ガラス製品 数珠 18号盛 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 83 ガラス製品 数珠 18号盛 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 18号盛 4.15 6.55 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号盛 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 41号盛 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 41号塞 3.5 5.8 0.2 白色ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 41号塞	
11 79 ガラス製品 数珠 18号盛 5.45 4.45 0.2 透明ガラス 11 80 ガラス製品 数珠 18号盛 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 82 ガラス製品 数珠 18号盛 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 82 ガラス製品 数珠 18号盛 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 18号盛 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 18号盛 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 18号盛 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 18号盛 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 88 ガラス製品 数珠 41号盛 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 89 ガラス製品 数珠 41号盛 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号盛	
11 80	
11 81 ガラス製品 数珠 18号基 5.3 4.4 0.2 透明ガラス 11 82 ガラス製品 数珠 18号基 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 83 ガラス製品 数珠 18号基 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 85 ガラス製品 数珠 32号基 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号基 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号基 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 33号基 4.0 5.8 0.2 白色ガラス 11 89 ガラス製品 数珠 41号基 4.05 5.8 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号基 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号基 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号基	
11 82 ガラス製品 数珠 18号塞 5.2 4.5 0.2 透明ガラス 11 83 ガラス製品 数珠 18号塞 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 33号塞 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号塞 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 33号塞 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 88 ガラス製品 数珠 33号塞 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 88 ガラス製品 数珠 38号塞 4.1 5.5 0.2 ブルーガラス 11 89 ガラス製品 数珠 41号塞 4.05 5.8 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号塞 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号塞 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 41号塞 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号塞 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号塞 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号塞 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号塞 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号塞 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 数 六道銭 48号塞 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 数 六道銭 48号塞 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 100 銭 六道銭 48号塞 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 48号塞 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 102 銭 六道銭 34号塞 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 105 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 106 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 106 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 106 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 106 銭 六道銭 48号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 到 12 2.8 列 13 12 107 12 108 長 六道銭 48号塞 22.69 22.7 1.2 2.9 青銅 12 104 銭 18号塞 22.60 22.7 1.2 2.9 青銅 12 104 銭 18号率 22.60 22.7 1.2 2.9 青銅 12 104 銭 18号率 22.60 22.7 1.2 2.9 青銅 12 104 銭 18号率 22.60 22.7 1.2 2.9 青銅 12 104 銭 18号率 22.60 22.7 1.2 2.9 青銅 12 104 銭 18号率 22.60 22.7 1.2 2.9 青銅 12 104 48号率 22.60 22.7	
11 83 ガラス製品 数珠 18号盛 5.8 4.7 0.2 透明ガラス 11 84 ガラス製品 数珠 18号盛 4.15 6.55 0.3 透明ガラス 11 85 ガラス製品 数珠 32号盛 4.6 5 0.2 白色ガラス 11 86 ガラス製品 数珠 33号盛 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 33号盛 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 31号盛 4.1 5.5 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号盛 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号盛 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号盛 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 48号盛 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号盛	
11 85 ガラス製品 数珠 33号墓 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 33号墓 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 38号墓 4.1 5.5 0.2 ブルーガラス 11 89 ガラス製品 数珠 41号墓 4.05 5.8 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 99 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅	
11 86 ガラス製品 数珠 33号墓 3.7 4.7 0.1 白色ガラス 11 87 ガラス製品 数珠 33号墓 4.1 5.5 0.2 ブルーガラス 11 89 ガラス製品 数珠 41号墓 4.05 5.8 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.5 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 41号墓 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 98 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 前 12 104 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 前 12 104 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 前 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅	
11 87 ガラス製品 数珠 33号墓 3.5 4.65 0.1 白色ガラス 7ルーガラス 11 89 ガラス製品 数珠 41号墓 4.05 5.8 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号墓 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 98 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.8 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.31 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.60 22.7 1.2 2.9 背銅	
11 88 ガラス製品 数珠 38号墓 4.1 5.5 0.2 ブルーガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.8 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 23.12 23 1 2.4 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.6 22.7 1.2 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.6 22.7 1.2 2.9 背銅	
11 89 ガラス製品 数珠 41号墓 4.05 5.8 0.2 白色ガラス 11 90 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号墓 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 5.15 0.2 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 98 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34<	
11 90 ガラス製品 数珠 41号墓 3.45 5.3 0.2 白色ガラス 11 91 ガラス製品 数珠 41号墓 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 98 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 99 銭 六道銭 48号墓 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 104 銭 六道銭 48号墓 22.69<	
11 91 ガラス製品 数珠 41号墓 3.8 5.5 0.2 白色ガラス 11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 98 銭 六道銭 48号墓 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 99 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 100 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 49号	
11 92 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.05 0.2 白色ガラス 11 93 ガラス製品 数珠 48号墓 2.6 4.25 0.1 透明ガラス 11 94 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 98 銭 六道銭 48号墓 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.31 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 4	
11 94 ガラス製品 数珠 48号墓 2.4 3.25 0.1 透明ガラス 11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.15 0.2 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 99 銭 六道銭 48号墓 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 23.12 23 1 2.4 背銅 12 106 銭 六	
11 95 ガラス製品 数珠 48号墓 3.5 5.15 0.2 白色ガラス 11 96 ガラス製品 数珠 48号墓 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 23 23 1.3 3.8 銅 12 98 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 99 銭 六道銭 48号墓 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 34号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号墓 22 21.5 0.89 0.7 背銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 24.45 24.4 1 2.9 青銅 12 106 銭	
11 96 ガラス聚品 数珠 48号基 2.95 4.4 0.1 白色ガラス 12 97 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 98 銭 六道銭 48号墓 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 99 銭 六道銭 48号墓 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号墓 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号墓 22 21.5 0.89 0.7 背銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 24.45 24.4 1 2.9 青銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.6 22.7 1.2 2.9 青銅	
12 97 銭 六道銭 48号塞上 23 23 1.3 3.8 銅 12 98 銭 六道銭 48号塞 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 99 銭 六道銭 48号塞 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 48号塞 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号塞 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号塞 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 49号塞 22 21.5 0.89 0.7 背銅 12 104 銭 六道銭 49号塞 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号塞 24.45 24.4 1 2.9 青銅 12 106 銭 六道銭 49号塞 22.6 22.7 1.2 2.9 青銅	
12 98 銭 六道銭 48号基 27.94 28.01 1.55 7 銅 12 99 銭 六道銭 48号基 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 48号基 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号基 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号基 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号基 22 21.5 0.89 0.7 背銅 12 104 銭 六道銭 49号基 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号基 24.45 24.4 1 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号基 22.6 22.7 1.2 2.9 背銅	- CT - CT
12 99 銭 六道銭 48号基 28.08 28.1 1.6 7.1 銅 12 100 銭 六道銭 48号基 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銭 六道銭 34号基 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号基 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号基 22 21.5 0.89 0.7 背銅 12 104 銭 六道銭 49号基 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号基 24.45 24.4 1 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号基 22.6 22.7 1.2 2.9 背銅	一錢 大正十年 一錢 明治十年
12 100 銀 六道銭 48号墓 22.97 22.92 1.3 3.7 銅 12 101 銀 六道銭 34号墓 24 23.91 1.2 2.8 銅 12 102 銭 六道銭 34号墓 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号墓 22 21.5 0.89 0.7 背銅 12 104 銭 六道銭 49号墓 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号墓 24.45 24.4 1 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号墓 22.6 22.7 1.2 2.9 背銅	一錢 明治十八年
12 102 銭 六道銭 34号基 22.69 22.34 1.1 1.7 銅 12 103 銭 六道銭 34号基 22 21.5 0.89 0.7 宵銅 12 104 銭 六道銭 49号基 23.12 23 1 2.4 宵銅 12 105 銭 六道銭 49号基 24.45 24.4 1 2.9 宵銅 12 106 銭 六道銭 49号基 22.6 22.7 1.2 2.9 宵銅	一錢 大正八年
12 103 銭 六道銭 34号基 22 21.5 0.89 0.7 背銅 12 104 銭 六道銭 49号基 23.12 23 1 2.4 背銅 12 105 銭 六道銭 49号基 24.45 24.4 1 2.9 背銅 12 106 銭 六道銭 49号基 22.6 22.7 1.2 2.9 背銅	乾隆通宝 (1736)
12 104 銭 六道銭 49号基 23.12 23 1 2.4 背銷 12 105 銭 六道銭 49号基 24.45 24.4 1 2.9 背銷 12 106 銭 六道銭 49号基 22.6 22.7 1.2 2.9 背銷	嘉慶通宝(1796)
12 105 銭 六道銭 49号基 24.45 24.4 1 2.9 青銅 12 106 銭 六道銭 49号基 22.6 22.7 1.2 2.9 青銅	銭名不明
12 106 銭 六道銭 49号墓 22.6 22.7 1.2 2.9 背銅	寛永通寳(新) 寛永通寳(新・マ頭通)
	寛永通賀(新・マ頭通)
12 107 銭 六道銭 49号墓 23.1 23.05 0.75 2.1 背銅	寛永通寶 (新)
12 108 銭 六道銭 49号墓 24.59 24.71 1.1 3.1 背銅	寛永通寶 (古)
12 109 銭 六道銭 49号基 24.2 24.25 1.19 3.4 背銅	寛永通寶 (新)
12 110 线 六道线 51号墓 24.75 24.69 1.15 2.6 背銅	寛永通寶 (文)
12 111 銭 六道銭 51号基 23.1 23.02 1 2.8 青銅	寛永通寶 (新)
12 112 銭 六道銭 51号基 24.7 24.5 1.09 2.3 背銅 12 113 銭 六道銭 51号基 24.42 24.51 1.16 2.9 青銅	寛永通寶(古)
12 113 銭	寛永通寶(新) 寛永通寶(新・マ頭通)
12 115 銭 六道銭 51号基 25 24.9 1.2 3.7 背銅	寛永通寶(文)
12 116 銭 六道銭 18号基 23.3 22.86 1.25 2.6 背銅	寛永通寶(新)
18 270 土製品 錘 1号牌 🛛 区拡 1 層 52 12.9 12.5 7.7 土	
18 271 土製品 紡錘車 1号牌 55 33 9 20 土 5000	i
18 272 須恵器 紡錘車 1号牌 拡1層 60 35 6 13.4 土	翌 胴部再利用
18 273 土製品 紡錘車 1号牌 II区拡 5 層 58 32 9 19.8 土	翌胴部再利用
18 274 須恵器 円盤 1号溝 拡 61 62 15 65.5 土 18 275 石製品 垂飾 1号溝 1層 45 19 7 12.4 滑石	土器再利用・紡錘車未製品?
18 275 石製品 垂飾 1号溝 1層 45 19 7 12.4 滑石 18 276 石製品 砥石 1号溝 185 163 40 1800 砂岩 501	5
18 277 石製品 砥石 1号牌 II区拡 1 層 119 59 24 246 砂岩	´
18 278 石製品 砥石 1号溝 🛛 区拡 1 層 67.2 24.1 21.7 33.5 天草砂岩	
	4 火を受けて赤〜黒変

第8表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土石器・金属器・ガラス製品一覧表

第4章 本荘地区の調査

挿図	図番号	種 別	器種	出土遺構	出土層・位置	長さ (mm)	幅 (mm)	順戈 (mm)	重畳(g)	材質	遺物番号			考
21	324	鉄器	鎌	1号海	2屆上	141.4	7 ш (зып)	3.9	52.5	鉄	E THE COLLEGE		VIU .	5
21	325	鉄器	鉄	8号住居	2 /14	164	351	7.4	130	鉄		鍛造		
21	326	鉄器	鍛	包含層		180	45.6	5.9	450.5	鉄	90024	報造		
21	327	鉄器	鉄	2号溝		201	34	3.5	53.6	鉄	90024	报池		
21	328	鉄器	刀子	1号溝	Ⅱ区1層	72.6	10.1	5.05	7.4	鉄		dar ub	両関式	
21	329	鉄器	刀子	1号游	11 位 1 周	90.4	12.2	6.8	9.8			救厄、 報造	问例工	
21	330	鉄器	刀子	1号溝		29.6	7.9	3.1	!!!	鉄	FOCEC			
21	331	鉄器	刀子	1号牌	Ⅱ区拡4層	44	15.1	3.9	1.5 4.4	鉄	50656	報造 報造		
21	332	数都 鉄器	刀子			l .			}	鉄				
21	333	鉄器	不明	1 号溝 2 号溝	Ⅱ 区拡 1 層 下層 (灰)	69.8	12.8	4.3	9.2	鉄			両関式	
21	334	鉄器	刀子	1号溝	ראט (אכ)	71.9	11.7	5.9	9.2	鉄	50145	鍛造	tt. on -k	
21	335					144.7	16.2	2.8	19.4	鉄	50447		片関式	
21	336	鉄器 鉄器	刀子	撹乱		152	22.7	10.9	40.6	鉄		鍛造		
	1		刀子	15号住居		63,6	9.05	2.75	5.3	鉄		鍛造		
21	337	鉄器	刀子	1号溝	444-	78	10.4	4.4	6.1	鉄	50148	鍛造		
21	338	鉄器	鏃	1号海	拡	72.1	6.5	4.5	6.2	鉄		鍛造		
21	339	鉄器 ·	鏃	2号游	下層	59.8	7.9	6.9	6.7	鉄		鍛造		
21	340	鉄器	鉄	42号住居	覆土	75,1	5.6	4.9	5,8	鉄		鍛造		
21	341	鉄器	鏃	1号溝		77.5	5.2	4	6.3	鉄	50604		尖根式	
21	342	鉄器	鏃	2号游	下層	105.9	6,6	6.4	12	鉄			両関式	
21	343	鉄器	斧	1号溝		120	55.8	41.3	43	鉄	319	鍛造		
23	347	石器	剥片	包含層		14.8	10.45	3.1	0.4	黒曜石	90064			
23	348	石器	剥片	1号海		17.8	11.1	3.15	0.5	黒曜石	50517			
23	349	石器	剥片	批乱		17.8	15.16	3.8	0.8	黒曜石				
23	350	石器	剥片	包含層		27.9	14.7	4.39	1.3	黒曜石	90057			
23	351	石器	剥片	1号海	下層	24.9	10.91	8.35	2.8	黒曜石				
23	352	石器	剥片	2 号溝	中下層	30.25	22.19	5.75	3	黒曜石				
23	353	石器	剥片	1 号溝	下層	18.9	7.6	3.3	0.5	黒曜石				
23	354	石器	剥片	2 号溝	设下層	23.48	16.4	3.71	1.3	黒曜石				
23	355	石器	剥片	2 号游 B		19.84	18.91	4.19	1.2	黒曜石				
23	356	石器	剥片	2 号溝 B		23.49	21.95	3.78	2.3	黒曜石				
23	357	石器	剥片			32.29	24	6	4.3	黒曜石				
23	358	石器	剥片	3号游	中層	34	15.39	7.88	3.3	黒曜石				
23	359	石器	剥片	1 号溝	上層	35	24,79	5.69	4.7	黒曜石				
23	360	石器	剥片	包含層		34.8	30.3	3.9	3.3	黒曜石	90948			
23	361	石器	剥片	撹乱		37.5	19.3	9.29	4.5	黒曜石				
23	362	石器	剥片	批乱		45.76	24.4	18.51	7.1	黒曜石				
23	363	石器	剥片	包含層		30,97	27.2	4.5	4	黒曜石	90069			
23	364	石器	剥片	包含層		49.35	32.69	6.78	13.6	サヌカイト	90104			
23	365	石器	石核	第3区21号住居		23,3	16.09	17.41	8.1	黒曜石				
23	366	石器	剥片	40号土壙		19.2	7.35	1.61	0.2	黒曜石	8			
23	367	石器	剥片	40号土壙		17.3	7.35	2.7	0.3	黒曜石	13			
23	368	石器	剥片	40号土壙		20.49	8.72	3.14	0.3	黒曜石	14			
23	369	石器	剥片	40号土壙		18.5	15.51	3.2	0.9	黒曜石	2			
23	370	石器	剥片	40号土壙		30	19.35	10.2	3.2	黒曜石	9			
23	371	石器	剥片	40号土壙		28	18.2	5,12	1.8	黒曜石	4			
23	372	石器	剥片	40号土坡		30.75	18.15	2	1.1	黒曜石	10			
23	373	石器	剥片	40号土壙		38	23.41	7.7	4.5	黒曜石	6			
23	374	石器	剥片	40号土坡		52,35	14,2	16.25	9.1	黒曜石	5			
23	375	石器	剥片	40号土壙		22.8	15.4	3.6	1.5	黒曜石	7			
23	376	石器	剥片	40号土坡		22.2	20.7	3.9	1.3	黒曜石	12			
	_ UIU	Tuq ⊷q*	9971	1 -0 -3 -1-794		1 25.5	20.1	1 0.0	1.0	ATT PLANT	1.6	L		

第8表 本庄遺跡 (9601調査地点) 出土石器・金属器・ガラス製品一覧表

第5章 跋 文

熊本大学埋蔵文化財調査室長 甲 元 眞 之

本年度の主たる発掘調査は工学部と医学部の研究棟の建設に伴う事前調査であり、日程的には比較的余裕のある計画の下に事業が進められた。しかし年度初めに予定していなかった小規模な発掘や立ち合い調査が頻繁にあり、報告書作成に必要な時間が限られたことは大学の調査機関としては、極めて不本意なことであった。その原因の一つに、施設部の発注と業者が実際に動き出す時期との「時間的空白」大きかったことが挙げられ、この点は今後の検討課題であろう。

埋蔵文化財調査室が発足して3年目にあたり、そろそろ調査体制の再検討をしなければならない点が 出始めている。現在専任教官が一人で対応しているために、来年度予定されている医学部の新築工事が 長期間に及ぶと、黒髪地区や大江地区での調査の必要が出て来た場合、どのように対処するかは、予め 想定しておかなければならないであろう。医学部敷地内での発掘では近代の多数の墓が検出され、多数 の人骨が出土したが、こうした事態は予想されていなかった。人骨の取り扱いや今後の保存問題を含め て早急に方針を立てなければならない。さらに埋蔵文化財調査室は間借り状態で運営されているが、発 据資料の量的な増加で現在「占有している」スペースが無くなりつつあり、本格的な整理作業が困難を 来しはじめていることにも注意を払う必要がある。以上の点に関して全学的な知恵をいただきたい。

本文に記載されている通り、発掘調査ではかなりの成果が見られた。大学病院敷地内で奈良時代の条里の区画溝と道路が検出され、律令時代の都市計画の基準線が熊本で初めて明らかにされたことは、今後の研究のための重要な資料となるであろう。また多数の墨書土器の存在は、奈良時代の識字率を考察する上で重要であり、社会的成熟度を測るための格好の素材といえよう。熊本の歴史を検討する上で、華やかではないがこうしたキーポイントになる資料が蓄積されることは望外の喜びと言えよう。

1997年 3 月17日

付篇1 前島貝塚他出土試料の放射性炭素年代測定結果

株式会社 古環境研究所

1. 試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No. 1	前島遺跡Ⅲ区1層	貝	酸エッチング石墨調整	加速器質量分析法(AMS法)
Na 2	会津海岸B	貝	酸エッチング石墨調整	加速器質量分析法(AMS法)
No. 3	会津海岸 A	骨	コーラゲン抽出石墨調整	加速器質量分析法(AMS法)
No. 4	前島遺跡 I 区 9 層	樹木	酸ーアルカリー酸洗浄石墨調整	加速器質量分析法(AMS法)

2. 測定結果

資料名	"C年代 (年BP)	∂ 3 C (‰)	補正"C年代(年BP)	暦年代交点 (1σ)	測定Na (Beta-)
Na 1	200±60	÷1.0	630±60	AD1680 (AD1645TO1710)	88843
Na 2	6090±50	+0.5	6510±50	BC5035 (BC5085TO4965)	88844
Na 3	6320±50	-21.8	6370±50	BC5290 (BC5330TO5260)	88845
Na 4	3100±50	-27.9	3120±50	BC1400 (BC1425TO1315)	88846

1) "C年代測定值

試料の"C/"C比から、単純に現在(1950年AD)から何年前(BP)かを計算した値。"Cの半減期は5,568年を用いた。

2) δ ¹³C 測定値

試料の測定¹¹C/¹²C比を補正するための炭素安定同位体比(¹¹C/¹²C)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)で表す。

3)補正"C年代值

δ ⁿC 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、"C / ⁿC の測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中"C 濃度の変動を補正することにより、暦年代(西暦)を算出した。補正には年代既知の樹木年輪の"C の詳細な測定値を使用した。この補正は10,000年BPより古い試料には適用できない。暦年代の交点とは、補正"C 年代値と暦年代補正曲線との交点の暦年代値を意味する。 1σ は補正"C 年代値の偏差の幅を補正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の 1σ 値が表記される場合もある。

付篇 2 1996年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1. 熊本大学埋蔵文化財調查委員会規則

(設 間)

第1条 熊本大学 (熊本大学医療技術短期大学部を含む。以下「本学」という。) に、熊本大学埋蔵文化財調査委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

(任 務)

第2条 委員会は、本学の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する重要事項を調査審議する。

(組 織)

- 第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
- (1) 各学部、教養部、医学部附属病院及び医療技術短期大学部から選出された教授又は助教授各1人
- (2)大学院自然科学研究科長
- (3)附属図書館長
- (4) 学生部長
- (5)事務局長
- (6)埋藏文化財調査室長
- (7) その他委員会が必要と認めた者 若干人
- 2 前項第1号及び第7号の委員は、学長が委嘱する。

(任期)

- 第4条 前条第1項第1号及び第7号の委員の任期は2年とし、再任は妨げない。
- 2 前項の規定にかかわらず、前条第1項第1号及び第7号の委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の 残任期間とする。

(委員長)

- 第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。
- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

- 第6条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ議事を開き、議決をすることができない。
- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 第7条 委員長は、必要があるときは、委員以外の者を出席させ意見を聴くことができる。

(調査室)

- 第8条 委員会に、埋藏文化財の発掘調査に関する業務を行うため、埋藏文化財調査室(以下「調査室」という。)を置く。
- 2 調査室の業務、組織その他必要な事項については、別に定める。

(事 務)

第9条 委員会の事務は、経理部主計課において処理する。

(雑 即)

第10条 この規則が定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

- 1 この規則は、平成6年4月7日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に委嘱される第3条第1項第1号及び第7号の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成8年3月31日までとする。

2. 熊本大学埋蔵文化財調査室要項

(趣 旨)

第1条 この要項は、熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則第8条第2項の規定に基づき、熊本大学埋蔵文化財調査室(以下「調査室」という。)の業務、組織その他必要な事項について定める。

(業務)

- 第2条 調査室は、熊本大学 (熊本大学医療技術短期大学部を含む。以下「本学」という。) の施設整備に伴う埋蔵文化 財の発掘調査に関する次の業務を行う。
- (1) 実施計画の立案及び実施に関すること。
- (2) 出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存に関すること。
- (3) 文化庁等に提出する報告書の作成に関すること。
- (4) その他必要な事項

(組 織)

第3条 調査室に、室長を置く。

- 2 室長は、調査室に関する業務を掌理する。
- 3 調査室に調査員その他必要な職員を置くことができる。
- 4 調査員は、発掘調査に関する業務を行う。

(室長等の任命)

- 第4条 室長及び調査員は、本学の教官のうちから学長が任命する。
- 2 学長は、必要がある場合は、学外の者を調査員に委嘱することができる。

(事 務)

第5条 調査室の事務は、関係学部等の協力を得て、経理部主計課において処理する。

(雑 則)

第6条 この要項に定めるもののほか、調査室の運営に必要な事項は、熊本大学埋蔵文化財調査委員会が定める。

附則

この要項は、平成6年4月7日から実施する。

3. 1996年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1 埋蔵文化財調査室組織(1996年4月1日現在)

<室 長> (併·文学部教授) 甲元 眞之

<調査員> (併・文学部助教授) 小畑 弘己

<事務補佐員> 矢野 希久代

<室内作業員>(1997年1~3月) 土田 ちえみ

林田 恵子

 $(1994.10.1 \sim)$

 $(1994.5.16 \sim)$

2 埋蔵文化財調査委員会

委員長 任期 (1996.4.1~1998.3.31) 北野 隆(熊本大学工学部教授) 委 員 松本寿三郎(文学部教授) $(1996.4.1 \sim 1998.3.31)$ 鶴島博和(教育学部助教授) $(1996. 4.1 \sim 1998. 3.31)$ 葉 陵陵(法学部助教授) $(1996. 4.1 \sim 1998. 3.31)$ 内野明徳 (理学部助教授) $(1996.4.1 \sim 1998.3.31)$ 小川 尚(医学部教授) $(1996, 4.1 \sim 1998, 3.31)$ 庄司省三 (薬学部教授) $(1996. 4.1 \sim 1998. 3.31)$ 猪飼隆明(教養部教授) $(1996.4.1 \sim 1998.3.31)$ 土亀直俊(附属病院助教授) (1996. 4.1 - 1998. 3.31)蔦川忠久(医技短大部教授) $(1996. 4.1 \sim 1998. 3.31)$ 甲斐文朗(大学院自然科学研究科長) $(1996.4.1 \sim 1998.3.31)$ 金原 理(附属図書館長) $(1995.5.16 \sim 1997.5.15)$ 江端正直(学生部長) $(1994.10.1 \sim 1996.9.30)$ 江端正直(学生部長) $(1996.10.1 \sim 1998.9.30)$

審議事項

1996年4月18日 1996年度の埋蔵文化財発掘調査について

甲元眞之(埋蔵文化財調査室長)

占部道敏(事務局長)

埋蔵文化財調査室経費の要求について

教官定員流用の申請について

埋蔵文化財調査室の調査要領について

1997年3月5日 1996年度の埋蔵文化財発掘調査結果について

PLATE



本庄遺跡近代墓の調査風景 (1997年 寒中)



 黒髪北地区入試保管庫試 掘調査(9609)トレンチ (西から)



2. 黒髪南地区工学部校舎発 掘調査 (9603) 調査区全 景 (西から)

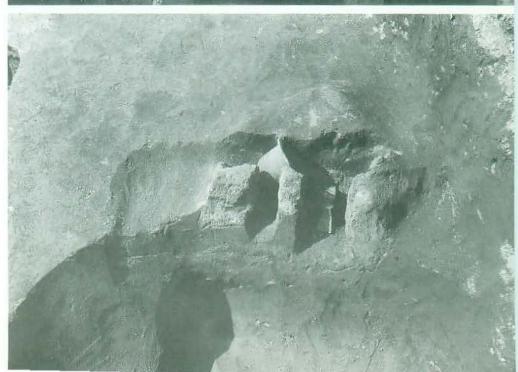




4. 同 8 号竪穴住居址 (西から)



5. 本荘地区医学部校舎発掘 調査 (9601) 3 区21号住 居址 (南から)



6. 同5区1号竪穴住居址籠 (南から)



7. 同6区全景(東から)



8. 同本調査区 I 区全景 (西から)



9. 同近代墓地南半部



10。同 2 号墓人骨出土状況 (東から)



11. 同道路および 1 号溝 (南から)



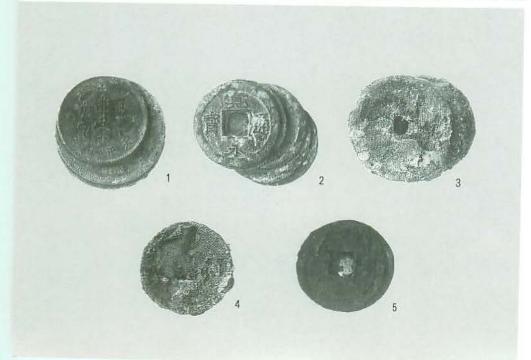
12. 同 1 号溝遺物出土状況



13. 同 7 号竪穴住居址・57号 掘立柱建物(南から)



14. 同15·16·33~37号竪穴 住居址(西から)



15. 同近代墓出土六道銭 (1:48号墓上, 2:49号墓, 3:51号墓, 4:18号墓,

報告書抄録

ふりがな	くまもとだ	いがくまい	ぞう	ぶんかさ	ざいちょ	うさして	つねんぽう 3		<u> </u>		
書 名	熊本大学坦	蔵文化財調	直 査室	年報 3	-1996	年度-					
副書名											
巻 次											
シリーズ名	熊本大学埋	蔵文化財調	査室	年報					<u> </u>		
シリーズ号	3										
編著者名	甲元眞之・	甲元眞之・小畑弘己・矢野希久代									
編集機関	熊本大学埋	熊本大学埋蔵文化財調査室									
所 在 地	〒860 熊	〒860 熊本県熊本市黒髪 2 -39-1 TEL.096-344-2111代 FAX.096-342-3150									
発行年月日	1997年 3 月	31日									
ふりがな	ふりがな] =	- к								
所収遺跡名	所在地	市町村	遺記	弥番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因		
くろかみまち	熊本県	43 201			32°	130°	19960510	1,000 m²	学校敷地内の		
黒髪町遺跡	熊本市				48′	43′			開発事業に伴う		
	黒髪				57"	73″	19960625				
ほんじょう	熊本県	43 201			32°	130°	19960805	2,000 m²	学校敷地内の		
本庄遺跡	熊本市				47′	42′			開発事業に伴う		
	本荘				73″	95″	19970117				
所収遺跡名	種別	主な時	代		主な遺構	ļ.	主な遺物	特	記事項		
田杉町場所	传本机	奈良・平	7 d→	竪穴	住居址	5	縄文後期土	in the			
黒髮町遺跡	集落址	宗良・十	女	溝状	遺構	5	古代土師器				
				掘立	柱建物	3	古代須恵器				
				土壙		4	瓦				
本庄遺跡	墓地	近代		墓		55	陶磁器				
							煙管・数珠				
							六道銭)			
	集落址	奈良・平	安	竪穴	住居址	20	縄文後~晩期土	:器			
				掘建	柱建物	2					
				道路		1	古代土師器	:			
					遺構	4	古代須恵器				
				土壙		6	鉄器・石器	:			

熊本大学埋蔵文化財調査室年報 3 -1996年度-

平成9年3月30日 印 刷 平成9年3月31日 発 行

編集兼発行者 熊本大学埋蔵文化財調査室

熊本市黒髪 2 - 3 9 - 1 電話 (096)344-2111

(内線3832)

印 刷 所 ㈱ 太 陽 社 熊本市新大江 2 丁目 5 番18号

電話 (096)366-1251

THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESEARCHS AT UNIVERSITY OF KUMAMOTO



Published by
University of Kumamoto, Department of Archaeological Operation
Kumamoto, 1997